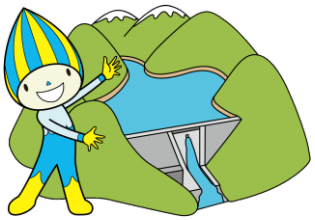
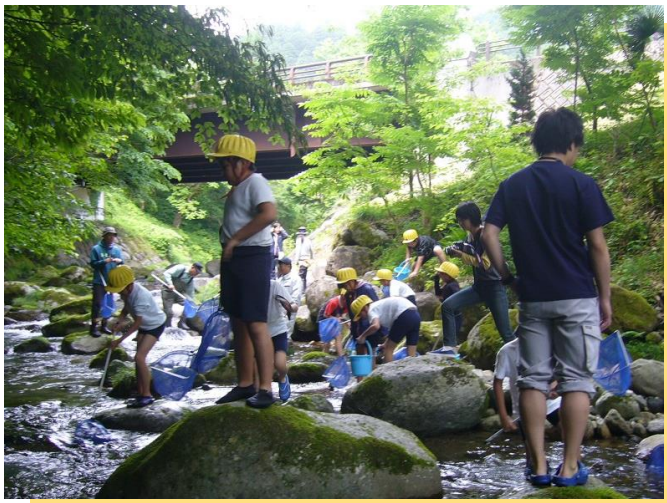
平成３０年度版　川を題材とした

総合的な学習の時間

活動事例集





平成３１年３月

岐阜県県土整備部河川課・砂防課

岐阜県河川協会・岐阜県砂防協会

はじめに

平成１２年度から始まった小中学校の「総合的な学習の時間」において、川を題材とした学習に取り組む小中学校に対し、岐阜県河川課及び砂防課では、平成１４年度から支援を行ってきました。

また、県では、「清流」の恵みに感謝し、「清流」に育まれた、自然・歴史・伝統・文化・技をふるさとの宝物として、活かし、伝えるため、平成２５年度に「清流の国ぎふ」の基本理念となる「清流の国ぎふ憲章」を発表しました。

この様な背景の下、次の世代を担う子ども達に川への関心や防災意識を高めてもらうため、川の中に入り、川とふれ合いながら学習する場を提供するなど、川を題材とした「総合的な学習の時間」への支援に積極的に取り組んできました。

この冊子は、平成３０年度に各土木事務所でお手伝いをさせていただいた活動事例を紹介させていただくものであり、子ども達の環境学習、防災教育を進められる方々に参考としていただければ幸いです。

平成３１年３月

岐阜県県土整備部河川課長　　井上　清敬

砂防課長　　広瀬　隆男

目　　次

平成３０年度支援活動一覧表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

～支援活動事例～

瑞穂市立牛牧小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

北方町立北方南小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

北方町立北方小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

岐阜市立長森南中学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

北方町立北方西小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

瑞穂市立本田小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

垂井町立垂井小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １０

垂井町立東小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １１

大垣市立北小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １２

大垣市立安井小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １３

海津市立城山小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １４

神戸町立南平野小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １５

養老町立上多度小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １６

池田町立池田小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １７

県立揖斐特別支援学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １８

美濃市立中有知小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １９

関市立博愛小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２０

美濃市立牧谷小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２１

関市立武儀東小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２２

関市立洞戸小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２３

関市立武儀西小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２４

関市立富野小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２５

郡上市立吉田小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２６

郡上市立牛道小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２７

郡上市立大中小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２８

郡上市立大和北小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２９

郡上市立高鷲小学校
海津市立東江小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３０

郡上市立明宝小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３１

郡上市立和良小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３２

可児市立広見小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３３

八百津町立和知小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３４

県立東濃高等学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３５
七宗町立上麻生小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３６
七宗町立神渕小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３７
土岐市立肥田小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３８
瑞浪市立瑞浪小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３９
多治見市立南姫小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４０
多治見市立昭和小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４１
多治見市立池田小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４２
多治見市立根本小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４３
土岐市立濃南小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４４
多治見市立市之倉小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４５
多治見市立共栄小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４６
多治見市立養正小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４７
多治見市立南姫小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４８
多治見市立精華小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４９
多治見市立池田小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５０
恵那市立岩邑小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５１
恵那市立大井小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５２
恵那市立大井第二小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５３
恵那市立中野方小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５４
下呂市立宮田小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５５
下呂市立菅田小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５６
高山市立南小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５７
高山市役所（小学生） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５８
飛騨市立神岡小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５９
飛騨市立山之村小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６０
飛騨市立古川西小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６１
飛騨市立宮川小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６２
飛騨市立古川西小学校 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６３
岐阜県河川課（小学生） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６４
岐阜県砂防課（小学生） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６５
巻末資料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６６
これまでの支援活動の経緯 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８３
支援窓口一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８７

平成30年度　総合学習支援活動　一覧表

土木事務所	No.	月日	支援校名	学年	人数	テーマ	分類				
							治水	環境	砂防	安全	前年継続
岐阜	1	6月22日	瑞穂市立牛牧小学校	4	136	パックテストを用い、近隣の河川の水質について学ぶ		○		○	○
	2	6月25日	北方町立北方南小学校	4	66	生き物と水質の調査を行い、糸貫川の環境について学ぶ		○		○	○
	3	9月28日	北方町立北方小学校	4	93	生き物と水質の調査を行い、糸貫川の環境について学ぶ		○		○	○
	4	10月2日	岐阜市立長森南中学校	1	143	身近な川に生息する生物を知り、川への興味関心を高めよう		○		○	○
	5	10月3日	北方町立北方西小学校	4	42	生き物と水質の調査を行い、糸貫川の環境について学ぶ		○		○	○
	6	10月25日	瑞穂市立本田小学校	4	81	生き物と水質の調査を行い、糸貫川の環境について学ぶ		○		○	○
大垣	7	5月24日	垂井町立垂井小学校	4	68	水生生物を指標にした水質調査（カワゲラウォッチング）	○	○		○	○
	8	5月31日	垂井町立東小学校	4	62	水生生物を指標にした水質調査（カワゲラウォッチング）	○	○		○	○
	9	6月2日	大垣市立北小学校	4	123	「家庭排水の水質調査」 児童の自宅から調べたい水（ジュース等）を持ち寄り、水質調査を行う		○		○	○
	10	6月8日	大垣市立安井小学校	4	124	「わがまちの安全～先人の知恵から学ぶ～」	○			○	
	11	6月19日	海津市立城山小学校	4	62	水生生物を指標にした水質調査（カワゲラウォッチング）	○	○		○	
	12	9月28日	神戸町立南平野小学校	3	26	「川の環境について学ぼう」 ハリヨが住める環境や、家庭からできる環境対策を学ぶ		○		○	○
	13	10月31日	養老町立上多度小学校	4	20	土砂災害と砂防について			○		○
揖斐	14	4月23日	池田町立池田小学校	5	53	砂防（土砂災害）について	○		○		○
	15	8月27日	県立揖斐特別支援学校	-	22	川と環境「川の観察と生き物調査」	○	○			○
美濃	16	5月29日	美濃市立中有知小学校	4	30	カワゲラウォッチングを通して長良川の環境について学ぶ		○		○	○
	17	6月12日	関市立博愛小学校	5	27	カワゲラウォッチング、パックテストを通して武儀川の環境について学ぶ		○		○	○
	18	6月25日	美濃市立牧谷小学校	5	27	カワゲラウォッチング、パックテストを通して板取川の環境について学ぶ		○		○	○
	19	6月26日	関市立武儀東小学校	4	13	パックテストを通して津保川の環境について学ぶ		○		○	○
	20	7月3日	関市立洞戸小学校	4	14	パックテストを通して板取川の環境について学ぶ		○		○	○
	21	7月3日	関市立武儀西小学校	4,5	13	カワゲラウォッチング、パックテストを通して津保川の環境について学ぶ		○		○	○
	22	9月6日	関市立富野小学校	5	16	パックテストを通して小野川の環境について学ぶ		○		○	

土木事務所	No.	月日	支援校名	学年	人数	テーマ	分類				
							治水	環境	砂防	安全	前年継続
郡上	23	5月25日	郡上市立吉田小学校	5	12	カワゲラウォッチングを通して粥川の環境について学ぶ		○			○
	24	6月5日	郡上市立牛道小学校	4	12	カワゲラウォッチングを通して牛道川の環境について学ぶ	○	○		○	
	25	6月15日	郡上市立大中小学校	4	15	カワゲラウォッチングを通して長良川の環境について学ぶ		○		○	○
	26	6月19日	郡上市立大和北小学校	4	26	カワゲラウォッチングを通して大間見川の環境について学ぶ		○			
	27	6月21日	郡上市立高鷲小学校 海津市立東江小学校	4	34	八百僧谷（長良川合流点）の水生生物調査		○			○
	28	11月20日	郡上市立明宝小学校	4	4	砂防えん堤の役割と土砂災害に対する備えについて			○		○
	29	1月29日	郡上市立和良小学校	5	15	砂防えん堤の役割と土砂災害に対する備えについて			○		○
可茂	30	6月11日	可児市立広見小学校	5	146	「平成22年7月15日に起きた可児川の災害について」	○		○	○	○
	31	6月13日 6月19日	八百津町立和知小学校	4	25	「川にすむ生物や水質を調べて今の石川の姿を知る」		○		○	○
	32	7月2日	県立東濃高等学校	2	5	「土砂災害から学ぶ、災害に備える」	○		○	○	○
	33	10月5日	七宗町立上麻生小学校	4	14	「川にすむ生物や水質を調べて今の飯高川を知る」		○		○	
	34	10月12日	七宗町立神渕小学校	3, 4	13	川にすむ生物や水質などを調べて今の神淵川の姿を知る		○		○	○
多治見	35	5月18日	土岐市立肥田小学校	2	58	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	36	5月22日	瑞浪市立瑞浪小学校	4	65	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	37	5月22日	多治見市立南姫小学校	4	30	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	38	5月24日	多治見市立昭和小学校	3	65	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	39	5月29日	多治見市立池田小学校	4	64	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	
	40	6月5日	多治見市立根本小学校	4	111	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	41	6月5日	土岐市立濃南小学校	4	8	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	42	6月19日	多治見市立市之倉小学校	4	38	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	43	6月26日	多治見市立共栄小学校	3	72	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	44	6月26日	多治見市立養正小学校	5	60	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	45	10月3日	多治見市立南姫小学校	4	30	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	46	10月5日	多治見市立精華小学校	5	126	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	○
	47	10月12日	多治見市立池田小学校	4	64	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ	○	○		○	

土木事務所	No.	月日	支援校名	学年	人数	テーマ	分類 治水	環境	砂防	安全	前年継続
恵那	48	4月26日 6月28日	恵那市立岩邑小学校	4	47	「ダム、河川環境を学ぶ」 ダム及び現在の河川環境を学ぶ	○	○	○	○	○
	49	6月25日 6月26日	恵那市立大井小学校	4	59	「河川環境を学ぶ」 現在の河川環境を学ぶ	○	○	○	○	○
	50	6月27日 7月17日	恵那市立大井第二小学校	4	65	「河川環境を学ぶ」 現在の河川環境を学ぶ	○	○	○	○	○
	51	9月11日	恵那市立中野方小学校	4	10	「中野方ダムを学ぶ」	○	○	○	○	○
下呂	52	6月15日	下呂市立宮田小学校	3	10	「河川環境を学ぶ」 山之口川の現状や川とのふれあい方を学ぶ		○		○	○
	53	6月22日	下呂市立菅田小学校	3,4	15	「河川環境を学ぶ」 菅田川の現状や川とのふれあい方を学ぶ		○		○	○
高山	54	7月18日	高山市立南小学校	5	68	カワゲラウォッチング 川の安全利用講習	○	○		○	
	55	7月24日	高山市役所（小学校）	−	60	カワゲラウォッチング 川の安全利用講習	○	○		○	○
古川	56	6月26日	飛騨市立神岡小学校	4	60	「河川環境を学ぶ」 高原川の現状や川とのふれあい方を学ぶ		○		○	○
	57	7月13日	飛騨市立山之村小学校	4,6	6	「河川環境を学ぶ」 森茂谷の現状や川とのふれあい方を学ぶ		○			
	58	7月13日	飛騨市立古川西小学校	4	57	「河川環境を学ぶ」 宮川の現状や川とのふれあい方を学ぶ		○		○	○
	59	7月17日	飛騨市立宮川小学校	3,4	4	「河川環境を学ぶ」 宮川の現状や川とのふれあい方を学ぶ		○		○	○
	60	11月1日	飛騨市立古川西小学校	5	51	「伝統的防災マップを利用した地域防災教育」 伝統的防災施設（霞堤・輪中堤）について学び、地域防災について理解を深める	○			○	○
県庁	61	8月20日	岐阜県河川課（小学生）	−	33	清流の国ぎふ水環境イベント 清流の国ぎふ”川遊び名人”になろう！	○	○		○	○
	62	11月11日	岐阜県砂防課（小学生）	−	21	「砂防を学ぶ」 土砂災害について知ってもらい、土砂災害から身を守る方法を学んでもらう			○		○
計	62				2,939		30	53	11	52	52

様式①　　（岐阜土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	瑞穂市立牛牧小学校	担当教員名	広瀬先生	対象学年・人数	４年生１３６名
実　施　日	６月２２日（金）		実施場所	牛牧小学校	
テ　ー　マ	パックテストを用い、近隣の河川の水質について学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：　パックテストの実施

COD パックテストの方法について説明し、採水箇所ごとに検査を行った。採水した水のほかにジュースを混ぜた水でも実施した。

学習内容②：テスト結果のとりまとめ

COD パックテストの結果を取りまとめ、各班の結果を比較し、各班の結果について意見発表を行った。

学習内容③：河川の水質について考える

採水箇所によって河川の水質が異なることや、ジュースを加えた場合に水質が変化することより、普段の生活が河川へ与える影響などを考える。

学習内容④：河川の危険について

川を安全に楽しむためのカードとチラシを用い、川の危険について学ぶことができた。

【学習結果と考察】

- 採集した犀川、五六川の水質を COD パックテストで調べた結果、どちらも下流より上流の方が、水質が良好であることが分かった。
- ジュースを混ぜた水について、少量混ぜただけでも水質悪くなることがわかり、川へのゴミの投棄などが、水質などに大きな影響を与えることを学習した。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 身近な川の水質を調べ、普段の生活が川に与える影響などを理解してもらえた。川の周辺環境の向上につながると良い。
- 川の安全利用について、啓発を行ったので、今後の河川利用について考えてもらえる機会となった。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：河川第一係	氏名：岩月　駿	電話番号（内線）	058-215-0978（2781）

様式①　　（岐阜土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	北方町立北方南小学校	担当教員名	松井・川瀬先生	対象学年・人数	４年生６６名
実　施　日	６月２５日（月）		実施場所	糸貫川（清流平和公園）	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 生き物と水質の調査を行い、糸貫川の環境について学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	北方町教育委員会	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

糸貫川に入り、水生生物の採取を行い、実際の川の環境や状況などを学ぶことができた。

学習内容②：糸貫川に棲む生物を知る

採取した水生生物を観察し、実際に糸貫川に棲む生物の名前や特徴を知ることができた。

学習内容③：糸貫川の水質を知る 1

糸貫川の水、清流平和公園の井戸水、川の水にジュースなどを混ぜた水について、COD パックテストを用いた比較試験を行った。

学習内容④：糸貫川の水質を知る 2

COD パックテストの結果を班ごとにまとめ、結果を比較した。最後に、川の安全啓発のチラシを用い、川の危険について学ぶことができた。

【学習結果と考察】

- 実際に生物を採取し触れることで、身近な川に棲む生物についてより知ることができた。
- ジュースなどが混ざることで、糸貫川の水質に大きな影響があることが COD を比較することによってわかった。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 身近にある河川公園で実際に河川内に入り環境学習を行ったことで、川の環境に興味を持ってもらえた。糸貫川の環境向上について、考えてもらうきっかけになった。
- ６月でも非常に暑かったため、次回実施時は熱中症対策として、実施時期をずらすなど対応したい。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（２人参加）

記入者	所属：河川第一係	氏名：岩月　駿	電話番号（内線）	058-215-0978（2781）

様式①　　（岐阜土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	北方町立北方小学校	担当教員名	宮沢先生・早川先生 嶋崎先生・大竹先生	対象学年・人数	４年生９３名
実　施　日	９月２８日（金）		実施場所	糸貫川（清流平和公園）	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 生き物と水質の調査を行い、糸貫川の環境について学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	北方町教育委員会	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

糸貫川に入り、水生生物の採取を行い、実際の川の環境や状況などを学ぶことができた。

学習内容②：糸貫川に棲む生物を知る

採取した水生生物を観察し、実際に糸貫川に棲む生物の名前や特徴を知ることができた。

学習内容③：糸貫川の水質を知る①

糸貫川の水、清流平和公園の井戸水、川の水にジュースなどを混ぜた水について、COD パックテストを用いた比較試験を行った。

学習内容④：糸貫川の水質を知る②

COD パックテストの結果を班ごとにまとめ、結果を比較した。最後に、川の安全啓発のチラシを用い、川の危険について学ぶことができた。

【学習結果と考察】

- 実際に生物を採取し触れることで、身近な川に棲む生物についてより知ることができた。
- ジュースなどが混ざることで、糸貫川の水質に大きな影響があることが COD を比較することによってわかった。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 身近にある河川公園で実際に河川内に入り環境学習を行ったことで、川の環境に興味を持ってもらえた。糸貫川の環境向上について、考えてもらうきっかけになった。
- 継続し環境学習を行うことで、川を大切にする意識を根付かせていきたい。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：河川第一係	氏名：岩月　駿	電話番号（内線）	058-215-0978（2781）

様式①　　（岐阜土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	岐阜市立長森南中学校	担当教員名	馬淵先生	対象学年・人数	１年生１４３名
実　施　日	１０月２日(火)		実施場所	境川	
テ　ー　マ	身近な川に生息する生物を知り、川への興味関心を高めよう。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	NPO 法人 e-plus 生涯学習研究所	

学習内容①：　川とのふれあい方を学ぶ

境川に生息する水生生物を採取し、身近な河川の自然環境について学んだ。

学習内容②：境川の生態を学ぶ

採取した水生生物を種類ごとにわけ、境川に生息する生物やその特徴について学んだ。

学習内容③：川の危険性について

まとまった雨が降ると川は恐ろしい場所にもなるということや川の水位が上昇した時は、インターネットを通じてパソコン、携帯電話から川の水位を確認できることを学んだ。

学習内容④：

【学習結果と考察】

- 身近な川に生息する生物の様子や種類を知ることによって、川への興味関心を高めることができた。
- 川は危険な場所にもなるということを理解し、川遊びの際に注意しなければならないことを学ぶことができた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 川に入る機会や、水生生物を採取する機会が少ない生徒が多かったため、積極的に生物を採取し、楽しそうに参加していた。
- 学校側で事前に、川に入る際の注意や境川の水生生物の生態等を学習していただいたおかげで、スムーズに進めることができた。

備　　考	特定非営利活動法人 e-plus 生涯学習研究所代表の小林さんのほか、岐阜大学河川環境楽園自然発見館の岩井さん、美濃加茂自然史研究会の安藤さんに協力いただきました。

記入者	所属：河川第二係	氏名：大野 哲也	電話番号（内線）	058-215-0978（2778）

様式①　　（岐阜土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	北方町立北方西小学校	担当教員名	浜野先生	対象学年・人数	４年生４２名
実　施　日	１０月３日（水）		実施場所	糸貫川（清流平和公園）	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 生き物と水質の調査を行い、糸貫川の環境について学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	北方町教育委員会	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

糸貫川に入り、水生生物の採取を行い、実際の川の環境や状況などを学ぶことができた。

学習内容②：糸貫川に棲む生物を知る

採取した水生生物を観察し、実際に糸貫川に棲む生物の名前や特徴を知ることができた。

学習内容③：糸貫川の水質を知る 1

糸貫川の水、清流平和公園の井戸水、川の水にジュースなどを混ぜた水について、COD パックテストを用いた比較試験を行った。

学習内容④：糸貫川の水質を知る 2

COD パックテストの結果を班ごとにまとめ、結果を比較した。最後に、川の安全啓発のチラシを用い、川の危険について学ぶことができた。

【学習結果と考察】

- 実際に生物を採取し触れることで、身近な川に棲む生物についてより知ることができた。
- ジュースなどが混ざることで、糸貫川の水質に大きな影響があることが COD を比較することによってわかった。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 身近にある河川公園で実際に河川内に入り環境学習を行ったことで、川の環境に興味を持ってもらえた。糸貫川の環境向上について、考えてもらうきっかけになった。
- アンケート結果も良好であるため、総合学習の成果が表れているのではないかと思う。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：河川第一係	氏名：岩月　駿	電話番号（内線）	058-215-0978（2781）

様式①　　（岐阜土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	瑞穂市立本田小学校	担当教員名	河合先生	対象学年・人数	４年生８１名
実　施　日	１０月２５日（木）		実施場所	糸貫川（糸貫川運動公園）	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 生き物と水質の調査を行い、糸貫川の環境について学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

糸貫川に入り、水生生物の採取を行い、実際の川の環境や状況などを学ぶことができた。

学習内容②：糸貫川に棲む生物を知る

採取した水生生物を観察し、実際に糸貫川に棲む生物の名前や特徴を知ることができた。

学習内容③：糸貫川の水質を知る１

糸貫川の水、川の水に牛乳などを混ぜた水について、COD パックテストを用いた比較試験を行った。

学習内容④：糸貫川の水質を知る２

COD パックテストの結果を班ごとにまとめ、結果を比較した。最後に、川の安全啓発のチラシを用い、川の危険について学ぶことができた。

【学習結果と考察】

- 実際に生物を採取し触れることで、身近な川に棲む生物についてより知ることができた。
- 牛乳などが混ざることで、糸貫川の水質に大きな影響があることが COD を比較することによってわかった。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 実際に河川内に入り環境学習を行ったことで、川の環境に興味を持ってもらえた。糸貫川の環境向上について、考えてもらうきっかけとなった。
- 児童の行った COD パックテストが思うような結果にならなかったため、実施方法など工夫が必要だと感じた。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：河川第一係	氏名：岩月　駿	電話番号（内線）	058-215-0978（2781）

様式①　　（大垣土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	垂井町立垂井小学校	担当教員名	足利先生	対象学年・人数	４年生６８名
実　施　日	５月２４日(木)		実施場所	相川	
テ　ー　マ	水生生物を指標にした水質調査 （カワゲラウォッチング）		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	講師：伊藤充　様	

学習内容①：川の生き物の生息場所学習

川に入って生き物を捕まえてみることで、川の生き物がどんなところにいるか、知ることができた。

学習内容②：生き物の分類

捕獲した生き物を、種類ごとに分類した。生き物の見分け方や、種類の違いを学習することができた。

学習内容③：水のきれいさの調査

生息している種類と数によって、相川の水がきれいかどうか、調査を行い発表した。
相川はきれいな水と判定された。

学習内容④：河川防災について

川で遊ぶ際の危険の避け方、また安全に配慮した。
楽しみ方、岐阜県が提供する川の防災情報の見方について学んだ。

【学習結果と考察】

- 家庭で何気なく捨てている飲料水等が、河川を汚す可能性があること、汚れた河川を人工的に浄化するため、莫大な労力がかかることを理解して頂けた。また、家庭排水は下水処理場にて浄化されていることも、付け加えさせて頂いた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 河川環境をよりよいものにするため、一人一人ができる注意、取組みを示すことができた。
- 今後も環境問題に興味を持って頂けると期待したい。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加） 子ども達から感想の手紙を頂きました【巻末資料６６頁掲載】

記入者	所属：河川第一係	氏名：原　美幸	電話番号（内線）	0584-73-1111（373）

様式①　　（大垣土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	垂井町立東小学校	担当教員名	渡辺先生	対象学年・人数	４年生６２名
実　施　日	５月３１日(木)		実施場所	相川	
テ　ー　マ	水生生物を指標にした水質調査 （カワゲラウォッチング）		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	TSUCHIYA(株)環境事業本部 一般財団法人土屋環境教育振興財団	

学習内容①：川の生き物の生息場所学習

川に入って生き物を捕まえてみることで、川の生き物がどんなところにいるか、知ることができた。

学習内容②：生き物の分類

捕獲した生き物を、種類ごとに分類。生き物の見分け方や種類の違いを学習することができた。

学習内容③：水のきれいさの調査

生息している種類と数によって、相川の水がきれいかどうか、調査を行った。
相川はきれいな水と判定された。

学習内容④：川の危険性について

川で遊ぶ際の危険の避け方、また安全に配慮した。
楽しみ方、岐阜県が提供する川の防災情報の見方について学んだ。

【学習結果と考察】

- 垂井東小学校では、4 年生を対象に毎年環境学習を行っており、継続的な調査を行っている。
- 今年も、相川はきれいな水という結果になった。
- きれいな川をまもれるようにしていきたい。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- とても楽しく総合学習に取り組んでおり、川に対しての興味や関心を持ってもらえたと思う。
- 実際に川に入ることで、川の危険（滑りやすいこと等）を肌で感じてもらえた。
- 生き物を捕まえて観察することで、川の生態系を実感することができた。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（2 人参加）

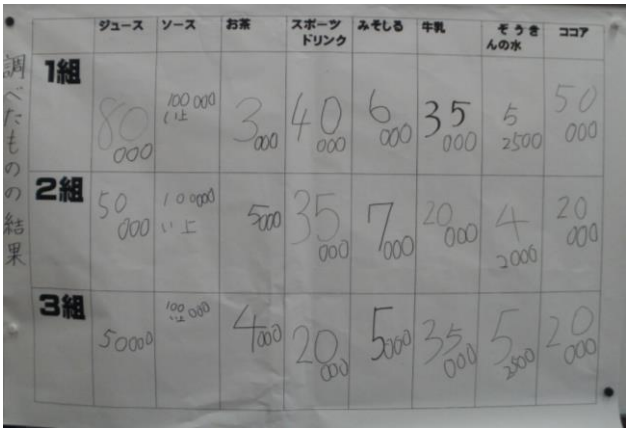
記入者	所属：河川第一係	氏名：原　美幸	電話番号（内線）	0584-73-1111（373）

様式①　　（大垣土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	大垣市立大垣北小学校	担当教員名	桐山先生	対象学年・人数	４年生１２３名
実　施　日	６月２日(土)		実施場所	大垣市立北小学校	
テ　ー　マ	「家庭排水の水質調査」 児童の自宅から調べたい水（ジュース等）を持ち寄り、水質調査を行う。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：家庭排水の水質調査

家から持ち寄ったジュースやソース、味噌汁等を 1000 倍に希釈し、COD 値を測定した。



学習内容②：水質調査から考えたことの発表

得られた結果から考えたこと発表し、川の水質を保つためにみんなができることについて、理解を深めた。

学習内容③：家庭排水が環境に及ぼす負荷について

家庭排水が河川環境に及ぼす影響や、県が行っている水質浄化対策事業の一部について、学んだ。

学習内容④：河川防災について

川の危険性や事故事例、岐阜県が提供する防災情報について、学んだ。また、この日は保護者参観も兼ねていたため、ご家族の方にも合わせて説明した。

【学習結果と考察】

- 水質調査の結果、3,000～500,000mg/L という高い COD 値となった。
- 家庭で何気なく捨てている飲料水等が、河川を汚す可能性があること、汚れた河川を人工的に浄化するため、莫大な労力がかかることを学んだ。
- 家庭排水は下水処理場にて浄化されていることも学んだ。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 河川環境をよりよいものにするため、一人一人ができる注意、取組みを示すことができた。今後も環境問題に興味を持って頂きたい。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：河川第一係	氏名：原　美幸	電話番号（内線）	0584-73-1111（373）

様式①　　（大垣土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	大垣市立安井小学校	担当教員名	浅野先生	対象学年・人数	４年生１２４名
実　施　日	６月８日(金)		実施場所	安井小学校	
テ　ー　マ	総合学習「わがまちの安全 ～先人からの知恵を学ぶ～」		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：　岐阜県の水害発生状況

岐阜県の水害発生状況について学んだ。

学習内容②：岐阜県が取組む治水事業

岐阜県が取組む治水事業について、平成 16 年度豪雨などの過去の水害から効果を学んだ。

学習内容③：川の安全啓発について

川に潜む危険や、岐阜県が提供する川の防災情報の見方などについて学んだ。

学習内容④：伝統的防災施設による効果

過去の大水害から、西濃地域の伝統的防災施設について効果を学んだ。

【学習結果と考察】

- 過去の岐阜県の水害発生状況や、岐阜県が取組む治水事業について学んだ。
- 河川のライブカメラやアラームメールなど情報収集の方法と、いち早く危険を察知し避難することの大切さを学んだ。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- メモを取る生徒が多くみられ、興味を持って講義を聞いてもらえた。
- 過去の災害を知ることで、生徒たちの防災意識を高めるきっかけとなった。

備　　考	

記入者	所属：河川第一係	氏名：原　美幸	電話番号（内線）	0584-73-1111（373）

様式①　　（大垣土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	海津市立城山小学校	担当教員名	寺倉先生	対象学年・人数	４年生６２名
実　施　日	６月１９日(火)		実施場所	徳田谷	
テ　ー　マ	水生生物を指標にした水質調査 （カワゲラウォッチング）		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	TSUCHIYA(株)環境事業本部 一般財団法人土屋環境教育振興財団	

学習内容①：川の生き物の生息場所学習

川に入って生き物を捕まえてみることで、川の生き物がどんなところにいるか、知ることができた。

学習内容②：生き物の分類

捕獲した生き物を、種類ごとに分類。生き物の見分け方や、種類の違いを学習することができた。

学習内容③：水のきれいさの調査

生息している種類と数によって、徳田谷の水がきれいかどうか、調査を実施した。
徳田谷はきれいな水との判定された

学習内容④：川の危険性について

川で遊ぶ際の危険の避け方、また安全に配慮した。
楽しみ方、岐阜県が提供する川の防災情報の見方について学んだ。

【学習結果と考察】

- 城山小学校では、４年生を対象に環境学習を行っており、今後は継続的な調査を行っていきたい。
- 徳田谷は豊かな環境であるという結果になった。
- きれいな川をまもれるようにしていきたい。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- とても楽しく総合学習に取り組んでおり、川に対しての興味や関心を持ってもらえたと思う。
- 実際に川に入ることで、川の危険（滑りやすいこと等）を肌で感じてもらえた。
- 生き物を捕まえて観察することで、川の生態系を実感することができた。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：河川第一係	氏名：原　美幸	電話番号（内線）	0584-73-1111（373）

様式①　　（大垣土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	神戸町立南平野小学校	担当教員名	吉野先生	対象学年・人数	３年生２６名
実　施　日	９月２８日(金)		実施場所	南平野小学校	
テ　ー　マ	「川の環境について学ぼう」 ハリヨが住める環境や、家庭から できる環境対策を学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：　ハリヨが住める河川環境を学ぶ

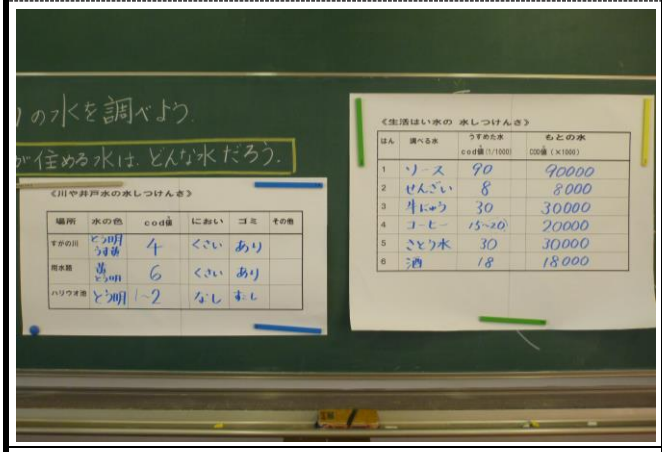
神戸町を流れる平野井川、菅野川の河川環境について説明し、ハリヨが住める理由を学んだ。

学習内容②：パックテストについて

菅野川と学校のハリヨ池の水質比較と、家庭排水の水質を COD パックテストにて調査した。

学習内容③：テスト結果の比較

テスト結果について、取りまとめを行い、クラスで感じたことを発表しあった。



学習内容④：川の安全啓発について

川の水質と生態系との関係を説明するとともに、川の安全利用について、説明と注意喚起を行った。また、岐阜県が提供する川の防災情報の見方について学んだ。

【学習結果と考察】

- 水質調査としてパックテストを学習した。家庭からの流されている物がどれだけ川への影響があるのかを比較して学習することができた。
- 菅野川とハリヨ池ではどれくらい水質に違いがあるのか学習できた。
- 河川の水質をきれいに保つことの大切さについて学習できた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- パックテストという簡易な検査で、身近にある河川の水質を調べることで、川について興味をもってもらえた。
- ハリヨ等の水質の綺麗な所に住む魚への影響についても学習することができた。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：河川第一係	氏名：原　美幸	電話番号（内線）	0584-73-1111（373）

様式①　　（大垣土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	養老町立上多度小学校	担当教員名	井川先生	対象学年・人数	４年生２０名
実　施　日	１０月３１日（水）		実施場所	小倉谷（砂防えん堤、護岸）	
テ　ー　マ	土砂災害と砂防について		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：土砂災害と砂防について

「土石流」をテーマとして、土砂災害の発生原因や規模を知ることで、土砂災害から身を守る方法を学んだ。

学習内容②：地元の特徴を学ぶ

当地域は、養老山系の扇状地に位置し、小倉谷が家や道路などより高い所を流れていること、また、近年、西濃地域で土砂災害が実際に起きていることを学んだ。

学習内容③：砂防施設の役割について（模型実験）

土石流に対する砂防堰堤やがけ崩れに対する擁壁の機能について、模型を使うことで、分かり易く、楽しく体験することができた。

学習内容④：砂防施設の役割について（現地見学）

現地見学により、砂防堰堤の大きさを実際に見て、砂防堰堤の役割や土石流の恐ろしさを肌で感じることができた。

【学習結果と考察】

- 教室でのスライドで見た土石流の映像を、現地見学での実際の砂防えん堤と比較して、その恐ろしさを学ぶことができた。
- 模型実験では、砂防施設があると、家や橋などの被害が少なくなることを理解することができた。
- 土砂災害防止対策として、砂防堰堤等の砂防施設を整備して土砂の流出を防ぐ方法と避難行動等により自らで身を守る方法の２つがあることがわかった。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 土砂災害の恐ろしさや砂防施設の役割について、ドローン映像、模型及び現地見学により体験することで、より分かり易くなるよう、心がけた。
- 総合学習で学んだことを家庭に持ち帰り、避難場所・経路の確認や土砂災害から身を守る方法を相談することで、台風や大雨時に危険を察知し、適切な避難行動をとっていただくことを期待している。

備　　考	

記入者	所属：砂防係	氏名：川上　裕史	電話番号（内線）	0584-73-1111（375）

様式①　　（揖斐土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	池田町立池田小学校	担当教員名	杉山先生	対象学年・人数	５年生５３名
実　施　日	４月２３日（月）		実施場所	大津谷（大津谷公園）	
テ　ー　マ	砂防（土砂災害）について		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：　土砂災害について

　土砂災害が発生するメカニズムや砂防ダムとはどのようなものなのかを学んだ。

学習内容②：砂防えん堤の役割について

　平成２０年９月に大津谷で発生した土石流を例に土石流を止め、被害を最小限にした大津谷の砂防えん堤の役割について学んだ。

学習内容③：模型を使った学習①

　模型を使って、土石流を発生させて砂防えん堤のある場合とない場合の被害の違いを比べることで、砂防えん堤の役割について学んだ。

学習内容④：模型を使った学習②

　模型を使って、がけ崩れが発生した時に下流の町ではどのような被害が発生するのかを学んだ。

【学習結果と考察】

- 土砂災害の発生のメカニズムや土砂災害が発生する前兆を学んだ。
- 砂防えん堤や擁壁の役割について、模型実験を通して砂防施設によって土石流の被害を減らすことができることを学んだ。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 住んでいる地区から見える山の中にこのように大きな施設があることを認識して、土石流を止めるなどの役割を理解することができた。
- 模型を使用して実験を行うことでえん堤の有無の効果だけではなく、えん堤の場所による効果の違いについても学ぶことができたと思う。

備　　考	

記入者	所属：河川砂防係	氏名：小川　晃平	電話番号（内線）	0585-23-1111（463）

様式①　　（揖斐土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	岐阜県立揖斐特別支援学校	担当教員名	植村先生	対象学年・人数	中学部２２名
実　施　日	８月２７日（月）		実施場所	管瀬川（結城橋上流）	
テ　ー　マ	川と環境「河の観察と生き物調査」		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	揖斐川町役場谷汲振興事務所	

学習内容①：　管瀬川の水質を調べる。

管瀬川で採水した水の pH、透明度、COD をグループごとにパックテストで調べた。

学習内容②：　川の危険性を学ぶ。

普段は穏やかな管瀬川でも雨が降ったら急に危険な場所になることを学んだ。

学習内容③：管瀬川の生態を知る。

採取した水生生物を種類ごとに分けて、採取した生き物の名前を知るとともに見分ける特徴や生息する地域について学ぶことができた。

学習内容④：管瀬川の生態を学ぶ。

採取した水生生物を種類ごとに分けて、採取した生き物の名前を知るとともに見分ける特徴や生息する地域について学ぶことができた。

【学習結果と考察】

- 管瀬川の pH や COD の調査を通して、管瀬川がきれいな河川であることを学んだ。
- 管瀬川に実際に入り水生生物を採取することで水生生物の捕まえ方や生息しているところを学んだ。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 実際に川に入ることで夢中になって生き物を採取していた。
- 快晴の熱い時期の開催であったが、テントを設置することで熱中症対策を行った。
- 地元の有識者を招き、揖斐郡に生息している魚がのっている下敷きを配ることで生物の説明を行う工夫を行った。

備　　考	岐阜県野生生物保護推進員（１名参加） 揖斐川町役場谷汲振興事務所（１名参加）

記入者	所属：河川砂防係	氏名：小川　晃平	電話番号（内線）	0585-23-1111（463）

様式①　　（美濃土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	美濃市立中有知小学校	担当教員名	伊東先生	対象学年・人数	４年生３０名
実　施　日	５月２９日（火）		実施場所	長良川（山崎大橋下流）	
テ　ー　マ	カワゲラウォッチングを通して 長良川の環境について学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：　長良川の様子、水生生物の生息の様子

小学校の近くを流れる長良川に実際に入って河川水の水温や流速、歩きにくさを体感し、どのような場所に水生生物が生息しているか学んだ。

学習内容②：指標生物による長良川の水質判定

自分たちで捕獲した水生生物を種類ごとに分類した。判定用の下敷などを参考に指標生物を探し、長良川の水質を判定した。

学習内容③：水難事故に合わないために

水難事故に合わないために心掛けたいことについて学んだ。

学習内容④：

【学習結果と考察】

- 捕獲した生物から、長良川の水は、「きれいな水」と判定された。
- 実際に川に入ることで、河床には凹凸があり、流速や水深が場所によって異なること、石の表面についた付着藻類などで歩きにくいこと等を体感できたと思われる。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- カワゲラ等の虫が川の水のきれいさの指標になることを知り、驚いた様子だった。
- 分かりやすく伝えるために、できるだけ専門用語は使わずに、平易な言葉を用いることを心掛けた。
- 川に興味をもってもらえると嬉しく思う。

備　　考	５月３０日（水）中日新聞（中濃版）に総合学習の記事が掲載された。【巻末資料６７頁掲載】 岐阜県自然工法管理士（３人参加）

記入者	所属：河川係	氏名：上野　公彦	電話番号（内線）	0575-33-4011（321）

様式①　　（美濃土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	関市立博愛小学校	担当教員名	坂田先生	対象学年・人数	５年生２７名
実　施　日	６月１２日(火)		実施場所	武儀川(武儀川スポーツ公園上流)	
テ　ー　マ	カワゲラウォッチング、パックテストを通して武儀川の環境について学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：武儀川の様子、水生生物の生息の様子

小学校の近くを流れる武儀川に実際に入って、河川水の透明度や水温、流速、河床材料、歩きにくさ等を体感し、カワゲラなどの水生生物を採捕した。

学習内容②：指標生物による武儀川の水質判定

捕獲した水生生物を生物種ごとに分類し、指標生物をもとに、武儀川の水質を判定した。

学習内容③：パックテストによる武儀川の水質判定

水道水と武儀川の河川水をパックテスト(COD) により水質検査した。ジュースを水道水で希釈した水でもパックテストを実施し、水道水や武儀川の水と比較した。

学習内容④：水難事故に合わないために

水難事故に合わないために心掛けたいことについて説明した。

【学習結果と考察】

- 捕獲した生物は、カワゲラ、ヒラタカゲロウ、ヒゲナガカワトビラなどであった。
- 指標生物による水質判定は、きれい～少しきたないという判定となった。
- パックテストによるジュースを薄めた水道水は、COD が以上となり大変きたないという結果となった。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 川に行く機会が多くなる時期に川の危険性を学び、啓発できたことは大変よかった。
- パックテストにおいてジュースを混ぜた水の COD が 8 以上という結果を受け、川にゴミを捨てないようにしたいといった感想があり、川を大切にする良いきっかけになったと感じた。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（２人参加）

記入者	所属：河川係	氏名：石原　大輝	電話番号（内線）	0575-33-4011 (323)

様式①　　（美濃土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	美濃市立牧谷小学校	担当教員名	村井先生	対象学年・人数	５年生２７名
実　施　日	６月２５日(月)		実施場所		板取川（蕨生大橋上流）
テ　ー　マ	カワゲラウォッチング、パックテストを通して板取川の環境について学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：板取川の様子、水生生物の生息の様子

小学校の近くを流れる板取川に実際に入って河川水の水温や流速、歩きにくさを体感し、どのような場所に水生生物が生息しているかを学んだ。

学習内容②：指標生物による板取川の水質判定

自分たちで捕獲した水生生物を種類ごとに分類、判定用の下敷などを参考に指標生物を探し、板取川の水質を判定した。

学習内容③：パックテストによる板取川の水質判定

パックテストにより直接採取した河川水を検査した。河川水との比較として、ジュースを水道水で希釈したものを使ってパックテストを実施した。

学習内容④：水難事故に合わないために

水難事故に合わないために心掛けたいことについて説明した。

【学習結果と考察】

- 捕獲した生物:カワゲラ、ヒラタカゲロウ、その他カゲロウ、ヒゲナガカワトビケラ、ヒラタドロムシ、ヘビトンボ
- 指標生物による水質判定:きれい～少し汚い
- パックテストによる調査結果、数値基準が 0～3 程度であり板取川の水質が良好であることが分かった。
- 水道水で 1,000 倍に希釈したジュースの COD 値は 8 以上となったことから、少量のジュースで COD の値が変わってしまうことを学んだ。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 川で遊ぶことは多いが虫を捕まえることは初めての子が多かったため、川には多くの虫が生息していることや川に棲む生物の種類から水質が分かることに非常に驚いていた。
- 河川に少量でもジュース等が混入すると、魚等の生物は棲めなくなることを知り、今後、川の環境を保つために気を付けようという感想が多くあった。
- 河川で遊ぶ時の注意点について学ぶことができた。

備　　考	美濃市役所の総合政策課が取材しました。 岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：河川係	氏名：宇田　将隆	電話番号（内線）	0575-33-4011（323）

様式①　　（美濃土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	関市立武儀東小学校	担当教員名	小関先生	対象学年・人数	４年生１３名
実　施　日	６月２６日(火)		実施場所		武儀東小学校理科室
テ　ー　マ	パックテストを通して津保川の環境について学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：パックテストによる水質判定

水道水と津保川の水でパックテストを実施した。これらとの比較として、児童が家庭から持参した生活排水等でもパックテストを実施した。

学習内容②：パックテストの結果の比較

水道水、津保川の水、児童が家庭から持参した水の COD 値を比較することで、それぞれの水質が異なることを学んだ。

学習内容③：ジュースを希釈した水の水質判定

ジュースを水道水で希釈した水でもパックテストを実施し、COD 値を確認した。

学習内容④：水難事故に合わないために

水難事故に合わないために心掛けたいことについて説明した。

【学習結果と考察】

- 津保川の水はアユ等の魚が生息しているため、との数値であり、COD 値が 0～3 であった水道水と同程度の水質であり、津保川の水質は良好であることが分かった。
- 児童が持参した生活排水等の COD 値が 6 以上となった。人間が使用している液体や人間が飲んでいる水の水質は、水道水や津保川の水質と全く異なることを学んだ。
- 水道水で 1,000 倍に希釈したジュースの COD 値は 8 以上となったことから、少量のジュースで COD の値が変わってしまうことを学んだ。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 生活排水等の生活に密着した水でパックテストをすることで、環境保全を身近に感じることができたと思う。
- パックテストによる水質判定は、色や数値にあらわれることから、理解しやすかったと思われる。
- 河川に少量でもジュース等が混入されると、魚等の生物は住めなくなることを知り、川の環境を保つために今後気を付けようという感想が多くあった。
- 分かりやすく伝えるために、できるだけ専門用語は使わず、平易な言葉を用いることが難しい。
- 川に興味を持ってもらえると嬉しく思う。

備　　考	

記入者	所属：河川係	氏名：宇田　将隆	電話番号（内線）	0575-33-4011(323)

様式①　　（美濃土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	関市立洞戸小学校	担当教員名	平沢先生	対象学年・人数	４年生１４名
実　施　日	７月３日（火）		実施場所	洞戸小学校理科室	
テ　ー　マ	パックテストを通して 板取川の環境について学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：パックテストによる水質判定の方法

パックテストによる水質判定の方法を習得した。

学習内容②：パックテストによる水質判定の実施

水道水と板取川の水でパックテスト（COD）を実施した。ジュースを水道水で希釈した水でもパックテストを実施し、水道水や板取川の水と比較した。

学習内容③：指標生物による水質判定

悪天候のため板取川でのカワゲラウォッチングはできなかったが、水生昆虫等の指標生物により、河川の水質を判定できることを学んだ。

学習内容④：水難事故に合わないために

水難事故に合わないために心掛けたいことについて学んだ。

【学習結果と考察】

- 板取川の水の COD 値は 1 度であり、COD 値が 0 程度であった水道水と同程度の水質であり、水質は良好であることが分かった。
- ジュースを水道水で 1,000 倍に希釈した水の COD 値は 8 以上であったことから、水道水や板取川の水とは全く異なる水質であることが分かった。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- パックテストによる水質判定は、色や数値にあらわれることから、理解しやすかったと思われる。
- ジュースを希釈した水は、魚等の生物がすめなくなることを知り、良好な板取川の環境を保つために今後気を付けようという感想が多くあった。
- 分かりやすく伝えるために、できるだけ専門用語は使わずに、平易な言葉を用いることを心掛けた。
- 川に興味をもってもらえると嬉しく思う。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：河川係	氏名：上野　公彦	電話番号（内線）	0575-33-4011（321）

様式①　　（美濃土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	関市立武儀西小学校	担当教員名	桜井先生	対象学年・人数	４・５年生１３名
実　施　日	７月３日(火)		実施場所		津保川（竹内医院付近 右岸）
テ　ー　マ	カワゲラウォッチング、パックテストを通して津保川の環境について学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：津保川の様子、水生生物の生息の様子

小学校の近くを流れる津保川に実際に入って、河川水の透明度や水温、流速、河床材料、歩きにくさ等を体感し、カワゲラなどの水生生物を採捕した。

学習内容②：指標生物による津保川の水質判定

捕獲した水生生物を生物種ごとに分類し、指標生物をもとに、津保川の水質を判定した。

学習内容③：パックテストによる津保川の水質判定

水道水と津保川の河川水をパックテスト(COD)により水質検査した。ジュースを水道水で希釈した水でもパックテストを実施し、水道水や津保川の水と比較した。

学習内容④：水難事故に合わないために

水難事故に合わないために心掛けたいことについて説明した。

【学習結果と考察】

- 捕獲した生物は、カワゲラ、ヒラタカゲロウ、ヘビトンボ、ヒラタドロムシなどであった。
- 指標生物による水質判定は、きれい～少しきたないという判定となった。
- パックテストによる水質判定により、津保川の水は COD が 1～2 という結果となり、水道水とほぼ変わらない水質であることが分かった。
- ジュースを薄めた水道水は、COD が 8 以上となり大変きたなという結果となった。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 川に行く機会が多くなる夏休み前に川の危険性を学ぶことができた。
- パックテストにおいて津保川水質が水道水と同程度であるとの結果やジュースを混ぜた水で COD が 8 以上という結果を受け、川にゴミを捨てないようにしたい津保川を大切にしていきたいとの感想があり、川を大切にする良いきっかけになったと感じた。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（1 人参加）

記入者	所属：河川係	氏名：石原 大輝	電話番号（内線）	0575-33-4011(323)

様式①　　（美濃土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	関市立富野小学校	担当教員名	水谷先生	対象学年・人数	５年生１６名
実　施　日	９月６日（木）		実施場所	富野小学校理科室	
テ　ー　マ	パックテストを通して 小野川の環境について学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：　パックテストによる水質判定の方法

パックテストによる水質判定の方法を習得した。

学習内容②：パックテストによる水質判定の実施

水道水と小野川の水でパックテスト(COD)を実施した。ジュースを水道水で希釈した水でもパックテストを実施し、水道水や小野川の水と比較した。

学習内容③：水難事故に合わないために

水難事故に合わないために心掛けたいことについて学んだ。

学習内容④：

【学習結果と考察】

- 小野川の水の COD 値は 2 程度であり、COD 値が 0 程度であった水道水と同程度の水質であり、水質は概ね良好であることが分かった。
- ジュースを水道水で 1,000 倍に希釈した水の COD 値は 8 以上であったことから、水道水や小野川の水とは全く異なる水質であることが分かった。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- パックテストによる水質判定は、色や数値にあらわれることから、理解しやすかったと思われる。
- ジュースを希釈した水は、魚等の生物がすめなくなることを知り、良好な小野川の環境を保つために今後気を付けようという感想が多くあった。
- 分かりやすく伝えるために、できるだけ専門用語は使わずに、平易な言葉を用いることを心掛けた。
- 川に興味をもってもらえると嬉しく思う。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：河川係	氏名：上野　公彦	電話番号（内線）	0575-33-4011（321）

様式①　　（郡上土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	郡上市立吉田小学校	担当教員名	清水先生	対象学年・人数	５年生１２名
実　施　日	５月２５日（金）		実施場所	粥川（ふくべの里 粥川バンガロー村前）	
テ　ー　マ	カワゲラウォッチングを通して粥川の環境について学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：パックテスト

粥川に入る前に、パックテストにより粥川の水質について確認した。

学習内容②：水生生物の採取

粥川に入って水生生物を採取することで、水生生物がどのような場所に棲んでいるかわかった。

学習内容③：水生生物の調査

採取した水生生物を調べることにより、様々な生物の名称を知ることができた。

学習内容④：各班の発表

グループごとに採取した水生生物を発表し、どんな生物が棲んでいるか、また指標生物（川の綺麗さの判断基準となる生物）により水質はどうかを学ぶことが出来た。

【学習結果と考察】

- 水生生物についてカゲロウ、カワゲラ、ヘビトンボ、ヒゲナガカワトビケラ等を採取した。
- 綺麗な水に棲む生物が多く、綺麗な水質と判断された。
- 様々な生物がいることがわかった。
- 綺麗な川を守れるようにしていきたい。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 川の中で水生生物を採取するときの児童は生き生きしていた。
- 川の大切さが学べるよう努力していきたい。
- 粥川は大変綺麗な川であり、児童達はこの川に誇りを持ってくれたと思われる。

備　　考	子ども達から感想の手紙をいただきました。【巻末資料６９頁掲載】 ５月２６日(土)中日新聞(中濃版)、５月２７日(日)岐阜新聞(中濃版)に総合学習の記事が掲載された。【巻末資料６８頁掲載】 岐阜県自然工法管理士（３人参加）

記入者	所属：河川係	氏名：藤原　雅司	電話番号（内線）	0575-67-1111（344）

様式①　　（郡上土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	郡上市立牛道小学校	担当教員名	和田先生	対象学年・人数	４年生１２名
実　施　日	６月５日（火）		実施場所	牛道川（牛道小学校横）、小学校	
テ　ー　マ	カワゲラウォッチングを通して牛道川の環境について学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

牛道川に入る前に、川での安全な遊び方、川の歩き方、水生生物の採取の仕方等について学んだ。

学習内容②：水生生物の採取

牛道川に入って水生生物を採取することで、水生生物がどのような場所に棲んでいるか分かった。

学習内容③：水生生物の調査

採取した水生生物を調べることにより、様々な生物の名称を知ることができた。

学習内容④：治水について　パックテスト

治水について、過去の氾濫写真等を見てその必要性を学んだ。牛道川の水と自分たちで持ち込んだいろいろな汚水でパックテストを実施した。

【学習結果と考察】

- 水生生物についてカゲロウ、カワゲラ、ヒゲナガカワトビケラ等を採取した。
- 綺麗な水に棲む生物が多く、綺麗な水質と判断された。
- 様々な生物がいることがわかった。
- 綺麗な川を守れるようにしていきたい。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 川の中で水生生物を採取するときの児童は生き生きしていた。
- 川の大切さが学べるよう努力していきたい。
- 川は穏やかなことが殆どだが、増水した時の恐ろしさを考えると治水が大事であることを理解してもらえたと思われる。
- 生徒が持ち込んだいろんな汚水でパックテストを行い、意外な結果に一喜一憂していた。

備　　考	子ども達から感想の手紙をいただきました。【巻末資料７０頁掲載】 岐阜県自然工法管理士（３人参加）

記入者	所属：河川係	氏名：藤原　雅司	電話番号（内線）	0575-67-1111（344）

様式①　　（郡上土木事務所　河川砂防課）

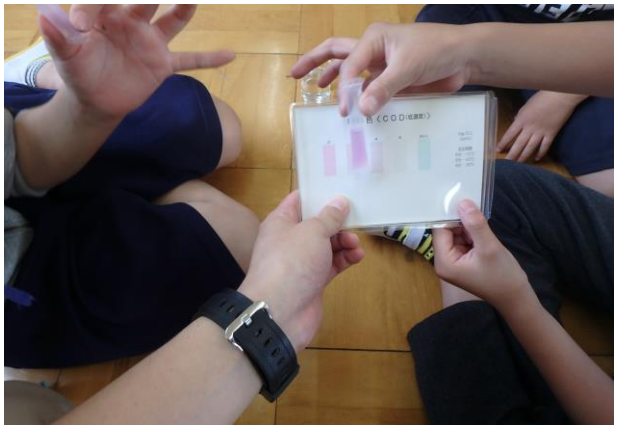
支援学校名	郡上市立大中小学校	担当教員名	清水先生	対象学年・人数	４年生１５名
実　施　日	６月１５日（金）		実施場所	小学校、長良川（大島橋下流）	
テ　ー　マ	カワゲラウォッチングを通して長良川の環境について学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

川での安全な遊び方、川での歩き方、水生生物の採取の仕方等について学んだ。

学習内容②：パックテスト

長良川に入る前に、パックテストにより長良川の水質について確認した。



学習内容③：水生生物の採取

長良川に入って水生生物を採取することで、水生生物がどのような場所に棲んでいるかわかった。

学習内容④：水生生物の調査　各班の発表

水生生物の名称を確認した後グループごとに発表し、どんな生物が棲んでいるか、また指標生物（川の綺麗さの判断基準となる生物）により水質はどうであるかを学んだ。

【学習結果と考察】

- 水生生物については、カゲロウ、カワゲラ、ヒゲナガカワトビケラ等を採取した。
- 綺麗な水に棲む生物が多く、綺麗な水質と判断された。
- 綺麗な川を守れるようにしていきたい。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 川の中で水生生物を採取するときの児童は生き生きしていた。
- 川の大切さが学べるよう努力していきたい。
- 川は楽しい所であるが、危険であることも理解してもらえた。
- 綺麗な川を守っていくにはどうしたらよいか考えて発表してもらった。

備　　考	６月１６日(土)中日新聞(中濃版)に総合学習の記事が掲載される。【巻末資料７１頁掲載】 岐阜県自然工法管理士（３人参加）

記入者	所属：河川係	氏名：藤原　雅司	電話番号（内線）	0575-67-1111（344）

様式①　　（郡上土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	郡上市立大和北小学校	担当教員名	河井先生	対象学年・人数	４年生２６名
実　施　日	６月１９日（火）		実施場所	大間見川（大和中学校横）	
テ　ー　マ	カワゲラウォッチングを通して大間見川の環境について学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：パックテスト

大間見川に入る前に、パックテストにより大間見川の水質について確認した。

学習内容②：水生生物の採取

水生生物を採取することで、水生生物がどのような場所に棲んでいるかなどを学んだ。

学習内容③：水生生物の調査

採取した水生生物を調べることにより、様々な生物の名称を知ることができた。

学習内容④：各班の発表

グループごとに採取した水生生物を発表し、どんな生物が棲んでいるか、また指標生物（川の綺麗さの判断基準となる生物）により水質はどうであるかを学んだ。

【学習結果と考察】

- 水生生物については、カゲロウ、サワガニ、ヒゲナガカワトビケラ、ヒラタドロムシ等を採取した。
- 綺麗な水に棲む生物が多く、綺麗な水質と判断された。
- 綺麗な川を守れるようにしていきたい。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 川の中で水生生物を採取するときの児童は生き生きしていた。
- 川の大切さが学べるよう努力していきたい。
- 綺麗な川を守っていくにはどうしたらよいか考えて発表してもらった。

備　　考	子ども達から感想の手紙をいただきました。【巻末資料７２～７３頁掲載】 岐阜県自然工法管理士（３人参加）

記入者	所属：河川係	氏名：藤原　雅司	電話番号（内線）	0575-67-1111（344）

様式①　　（郡上土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	郡上市立高鷲小学校 海津市立東江小学校	担当教員名	永田先生 後藤先生	対象学年・人数	４年生２２名（高鷲） １２名（東江）
実　施　日	６月２１日（木）		実施場所	八百僧谷（長良川合流点）	
テ　ー　マ	八百僧谷（長良川合流点）の水生生物調査		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	国土交通省木曽川下流河川工事事務所	

学習内容①：　両校対面式

高鷲小と東江小の対面式を行い、東江小から長良川下流の水質調査結果の発表があった。

学習内容②：水生生物の調査

両校で班を組み、一緒に水生生物の捕獲を行った。

学習内容③：水生生物の確認

捕獲した水生生物を確認し、上流部の水質のきれいさを確認した。

学習内容④：パックテスト

最後にパックテストにより八百僧谷の水質について確認した。

【学習結果と考察】

- 長良川の上流と下流の小学校で同時に実施したため、上下流の河川の違いについて、学習することができた。
- 水生生物については、カゲロウ、カワゲラ、ヒゲナガカワトビケラ等を採取した。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 平成２７年度より実施している、高鷲小と東江小合同の河川学習を継続して行うことができた。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（３人参加）

記入者	所属：河川係	氏名：藤原　雅司	電話番号（内線）	0575-67-1111（344）

様式①　　（郡上土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	郡上市立明宝小学校	担当教員名	鷲見先生	対象学年・人数	４年生４名
実　施　日	１１月２０日（火）		実施場所	教室	
テ　ー　マ	砂防えん堤の役割と 土砂災害に対する備えについて		分　類	治水 ・ 環境 ・ [砂防] ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：砂防えん堤の役割について学ぶ

土砂災害のビデオにより土砂災害の恐ろしさと砂防えん堤の役割について学習した。

学習内容②：土砂災害への対応について

ハザードマップを使って、自分の家や近所の土砂災害の危険性を調べた。

学習内容③：模型による土石流のしくみを体験

模型を用いて土石流の仕組みや砂防えん堤の効果を学習した。また、班ごとにビーズ土石流を発生させ、えん堤の効果を体感した。

学習内容④：

【学習結果と考察】

- 土石流の映像を見ることでその怖さを知り、えん堤の必要性を学習した。
- 模型実験を通じて、砂防えん堤の効果を理解することができた。
- 自分たちの生活が砂防えん堤によって守られていることや土砂災害に対して日ごろからの備えが大切であることが理解できた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 土石流の映像や模型実験により土石流について学習し、砂防えん堤の必要性を理解することができた。
- 土砂災害に対して、日ごろから備えておくべきことを理解できたと思う。

備　　考	子供たちから感想の手紙をいただきました。【巻末資料７４頁掲載】

記入者	所属：砂防係	氏名：伊藤　達也	電話番号（内線）	0575-67-1111（341）

様式①　　（郡上土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	郡上市立和良小学校	担当教員名	佐藤先生	対象学年・人数	５年生１５名
実　施　日	１月２９日(火)		実施場所	教室	
テ　ー　マ	砂防えん堤の役割と 土砂災害に対する備えについて		分　類	治水 ・ 環境 ・ [砂防] ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：砂防えん堤の役割について学ぶ

　土砂災害のビデオにより土砂災害の恐ろしさと砂防えん堤の役割について学習した。

学習内容②：土砂災害への対応について

　土砂災害の前ぶれや、災害にあわないための日ごろの準備について学習した。

学習内容③：模型による土石流のしくみを体験

　模型を用いて土石流の仕組みや砂防えん堤の効果を学習した。また、班ごとにビーズ土石流を発生させ、えん堤の効果を体感した。

学習内容④：

【学習結果と考察】

- 土石流の映像を見ることでその怖さを知り、えん堤の必要性を学習した。
- 模型実験を通じて、砂防えん堤の効果を理解することができた。
- 自分たちの生活が砂防えん堤によって守られていることや土砂災害に対して日ごろからの備えが大切であることが理解できた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 土石流の映像や模型実験により土石流について学習し、砂防えん堤の必要性を理解することができた。
- 土砂災害に対して、日ごろから備えておくべきことを理解できたと思う。

備　　考	

記入者	所属：砂防係	氏名：伊藤 達也	電話番号（内線）	0575-67-1111（341）

様式①　　（可茂土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	可児市立広見小学校	担当教員名	中島先生	対象学年・人数	５年生１４６名
実　施　日	６月１１日（月）		実施場所	広見小学校	
テ　ー　マ	「平成２２年７月１５日に起きた可児川の災害について」		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：　スライドによる説明

平成２２年度に発生した可児川の浸水被害状況や今後の災害への備え等について学んだ。

学習内容②：スライドによる説明

被災直後や復旧工事の様子を写真で見せることにより災害の怖さを知るとともに災害から身を守るための方法を学んだ。

学習内容③：スライドによる説明

災害を防ぐ対策として、工事等のハード対策と情報等を用いて自分たちで身を守るソフト対策があり、それぞれの内容及び重要性について学んだ。

学習内容④：ハザードマップの説明

今後の授業で取り組むハザードマップについて作り方やポイントについて学んだ。

【学習結果と考察】

- 災害当時や復旧工事の写真を用いて説明し、「災害はなぜ起きたのか」「災害から身を守るには」などの理解を深めてもらった。
- 災害対策としてハード対策とソフト対策があり、ソフト対策の重要性に気付いてもらった。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- メモを取る児童が多くみられ、興味をもって説明を聴いてもらえた。
- 今後、授業で行うハザードマップ作りによって地元の危険箇所や避難所等の把握につなげていただきたい。

備　　考	６月１２日（火）岐阜新聞（中濃版）に総合学習の記事が掲載された。【巻末資料７５頁掲載】 岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：河川砂防係	氏名：天野　裕行	電話番号（内線）	0574-25-3111（318）

様式①　　（可茂土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	八百津町立和知小学校	担当教員名	越野先生	対象学年・人数	４年生２５名
実　施　日	６月１３日（水）、６月１９日（火）		実施場所	石川	
テ　ー　マ	「川にすむ生物や水質を調べて今の石川の姿を知る」		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：　川について学ぶ

石川にすんでいる生物や水質について学んだ。また、洪水や土砂崩れの映像を見ることで災害の恐ろしさを学んだ。

学習内容②：水質を調べる

石川の水を含めた４つのサンプルを用意し、パックテストを行い水質を調べた。

学習内容③：カワゲラウォッチング

学校の近くを流れる石川に入って生物を採取し、どんな場所にどんな生物がすんでいるのか、川の形状はどうなっているのかなどを学んだ。

学習内容④：カワゲラウォッチング

採取した生物の同定や集計・分類を行い、生物に対する理解を深めた。また、川がどの程度きれいなのか生物がどれくらいいたか発表した。

【学習結果と考察】

- パックテストの結果、石川の水はとてもきれいな水(0～2ppm)となった。
- サワガニ、ヤゴ、ヘビトンボなどが多く生息しており、水質はややきれいな水（Ⅱ）となった。
- 川における危険個所を知り、川で遊ぶ際の注意点を学んだ。
- 土石流等の動画を見ることで、山で起きる災害の恐ろしさについて学習した。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 室内で予習をした上で生物を採取するという体験は児童にとても新鮮だったようで、授業の有意義さを感じられた。
- 洪水時の映像を見ることで、災害時は早めの非難が大切であることを理解してもらえたと思う。

備　　考	６月２８日（木）岐阜新聞（中濃版）に総合学習の記事が掲載された。【巻末資料７６頁掲載】 岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：河川砂防係	氏名：天野　裕行	電話番号（内線）	0574-25-3111（318）

様式①　　（可茂土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	岐阜県立東濃高等学校	担当教員名	安藤先生	対象学年・人数	２年生５名
実　施　日	７月２日（月）		実施場所	東濃高等学校	
テ　ー　マ	「土砂災害から学ぶ、災害に備える」		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：土砂災害について

土石流・がけ崩れ・地すべりの特徴や発生のメカニズムについて学んだ。

学習内容②：平成２２・２３年度の災害について

平成２２・２３年度に可茂地区で発生した災害の状況について、当時の新聞や写真を用いて学んだ。

学習内容③：災害復旧・防止工事について

災害後の各種復旧工事や、土砂災害を防ぐための砂防堰堤・地すべり対策・急傾斜地崩壊対策・護岸工・のり面工などの役割を学んだ。

学習内容④：災害から生命財産を守るために

ハザードマップや土砂災害警戒区域についての説明で、避難の方法や危険な個所を知ることができた。

【学習結果と考察】

- 当時の写真や新聞記事を用いて説明し、「何が起きたのか」「なぜ起きたのか」などの理解を深められた。
- 過去に可茂地域で災害が発生したことと、その後の復旧工事について学んだ。
- 河川のライブカメラやアラームメールなど、情報収集の方法を学んだ。
- いち早く危険を察知し避難することの重要性と大切さについて学んだ。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 土石流・がけ崩れ・地すべりの違いや災害復旧の方法等、災害について多くのことを知ってもらえた。
- 過去の災害を知ることで、生徒たちの防災意識を高めるきっかけとなった。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：河川砂防係	氏名：天野　裕行	電話番号（内線）	0574-25-3111（318）

様式①　　（可茂土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	七宗町立上麻生小学校	担当教員名	岡本先生	対象学年・人数	４年生１４名
実　施　日	１０月５日（金）		実施場所	飯高川	
テ　ー　マ	「川にすむ生物や水質を調べて今の飯高川を知る」		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	七宗町役場土木建設課	

学習内容①：　川について学ぶ

　飯高川にすんでいる生物や水質のことについて学んだ。また、川の水質によってすんでいる生物が異なることについてクイズを交えて学んだ。

学習内容②：水質を調べる

　飯高川の水、水道水、牛乳、お茶、子ども達が気になる水を用いてパックテストを行い、水質を比較した。

学習内容③：カワゲラウォッチング

　学校付近を流れる飯高川で生物を採取し、飯高川にはどのような生物がどんな場所にいるのかを学んだ。

学習内容④：カワゲラウォッチング

　採取した生物の同定や集計・分類を行い、生物に対する理解を深めた。また、川がどの程度きれいなのか生物がどれくらいいたか発表した。

【学習結果と考察】

- COD （低濃度）の値は、飯高川の水、水道水等がとてもきれいな水（0～2ppm）で、牛乳やお茶を薄めた水、水槽の水がきたない水（8ppm 以上）となった。
- サワガニ、カワムツやヒラタドロムシなどが生息しており、水質はややきれいな水（Ⅱ）となった。
- 身近な飲み物がごくわずかな量でも水質に大きく影響することがパックテストを通じて学習できた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 図鑑等をつかって、捕まえた生物の名前を調べるなど、積極性がみられた。
- 実際に川に入ることで、川の危険を肌で感じることができた。
- 室内で予習をした上で生物を採取するという体験は児童にとても新鮮だったようで、授業の有意義さを感じられた。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加） 子ども達から感謝の手紙をいただきました。【巻末資料７７頁掲載】

記入者	所属：河川砂防係	氏名：天野　裕行	電話番号（内線）	0574-25-3111（318）

様式①　　（可茂土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	七宗町立神渕小学校	担当教員名	上原先生	対象学年・人数	３・４年生１３名
実　施　日	１０月１２日（金）		実施場所	神淵川	
テ　ー　マ	「川にすむ生物や水質を調べて今の神淵川を知る」		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：　川について学ぶ

　神淵川にすんでいる生物や水質のこと、災害時にどう避難すればよいかを学んだ。

学習内容②：水質を調べる

　パックテストを行い、神淵川の水、牛乳を薄めた水、児童が持ち寄った水の水質を比較した。

学習内容③：カワゲラウォッチング

　学校の近くを流れる神淵川に入って生物を採取し、どんな場所にどんな生物がすんでいるのかを学んだ。

学習内容④：カワゲラウォッチング

　採取した生物の同定や集計・分類を行い、生物に対する理解を深めた。また、川がどの程度きれいなのか生物がどれくらいいたか発表した。

【学習結果と考察】

- パックテストの結果、神淵川の水はとてもきれいな水（0～2ppm）で、牛乳を薄めた水はきたない水（10ppm 以上）となった。
- カワゲラ、トビケラやヒラタドロムシなど昆虫類だけでなくカワヨシノボリ、カワムツなど魚類も多く生息しており、水質はきれいな水（Ⅰ）～ややきれいな水（Ⅱ）であった。
- 水質や川の上下流等によってすむ生物が異なることなど、改めて生物の多様性を確認できた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 分からないことを質問するなど、積極性がみられた。
- 図鑑等を用いて、捕まえた生物の名前や川の水質を判断することができていた。
- 自分たちの身近にある川でも、視点や探し方を変えれば、さらに興味深いものになることを伝えられたと思う。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：河川砂防係	氏名：天野　裕行	電話番号（内線）	0574-25-3111（318）

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	土岐市立肥田小学校	担当教員名	西尾先生	対象学年・人数	２年生５８名
実　施　日	５月１８日(金)		実施場所	肥田川	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。

学習内容②：川の水質を知る

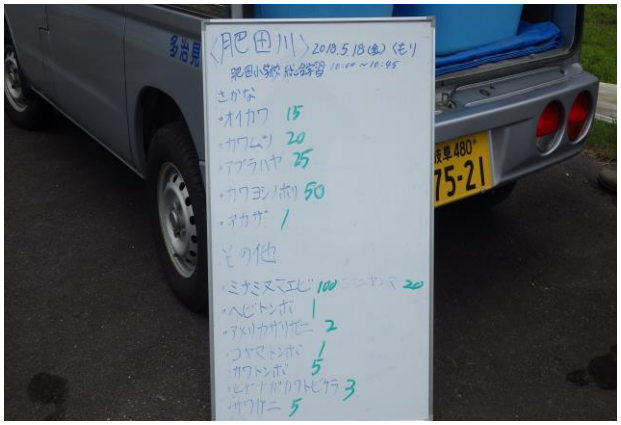
川で採取した水の水質（pH、透視度、COD）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。

学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。

学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。



【学習結果と考察】

- pH　7.0　・透視度　80cm
- COD　7　・水温　19℃
- 採取した水生生物
  カワムツ、オイカワ、アブラハヤ、カワヨシノボリ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、コオニヤンマ、コヤマトンボ、ハグロトンボ、トノサマガエル、アカザ
- アメリカザリガニは、ほとんどの河川で、確認されており、ほぼ日本中に生息しているということが考えられる。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 多治見土木事務所では、河川工事をする際には事前に生物保護活動を行う等、工事をする際にどれだけ自然に配慮しているかを説明した。
- 上流と下流に分かれて学習を行うため、子供たちを見落とすことがないように注意した。
- 夢中で水生生物を捕まえており、楽しみながら学習することができた。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：河川砂防係	氏名：加納　豊史	電話番号（内線）	0572-23-1111（318）

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	瑞浪市立瑞浪小学校	担当教員名	大崎先生	対象学年・人数	４年生６５名
実　施　日	５月２２日(火)		実施場所	万尺川	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。

学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（pH、透視度、COD）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。

学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。

学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。

【学習結果と考察】

- pH　8.0　・透視度　20.1cm
- COD　10
- 採取した水生生物
  カワムツ、オイカワ、カワヨシノボリ、ミナミヌマエビ、ドジョウ、アメリカザリガニ、コオニヤンマ、アメンボ
- カワムツ、オイカワ、カワヨシノボリ等、土岐川流域を代表する魚種が、比較的多く確認できた。在来種にとって、住みよい川であるのか。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 普段目にしている護岸等がどのような役割を果たしているかを説明し、河川工事の重要性を説明した。
- 川は雨が降ると急に増水することがあるため、雨が降った時や降りそうなときは、川に近づかないように説明した。
- 実際に川で生物を捕まえる際の捕まえ方等を教えた。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：河川砂防係	氏名：加納　豊史	電話番号（内線）	0572-23-1111（318）

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	多治見市立南姫小学校	担当教員名	伊藤先生	対象学年・人数	４年生３０名
実　施　日	５月２２日(火)		実施場所	姫川	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。

学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（pH、透視度、COD）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。

学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。

学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。

【学習結果と考察】

- pH　7.0　・透視度　16cm
- COD　10
- 採取した水生生物　15 種類
  カワムツ、カワヨシノボリ、タモロコ、ドジョウ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、スジエビ、サワガニ、カワニナ、タニシ、ウシマガエル
  ツチガエル、トビゲラ、ハグロトンボ、コオニヤンマヒル

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 小さい川ながら多くの種類の生物がいて夢中で捕まえており、楽しみながら学習することができた。
- 子供たちによる川の水質を発表する場では元気に発表し、聞いている側も興味を持っていた。
- 外来生物についての説明を行い、積極的に質問をしているところが印象的だった。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：河川砂防係	氏名：加納　豊史	電話番号（内線）	0572-23-1111（318）

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	多治見市立昭和小学校	担当教員名	石田先生	対象学年・人数	３年生６５名
実　施　日	５月２４日(木)		実施場所	笠原川（土岐川合流点）	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。

学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（pH、透視度、COD）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。

学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。

学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。

【学習結果と考察】

- pH　7.0　・透視度　21cm 以上
- COD　13
- 採取した水生生物　15 種類
  オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、アカザ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、コオニヤンマ
- 以上のことから、土岐川と笠原川の合流点付近は、在来種も多く捕獲できたが、外来種も見られたことから、この川の生態の多様性が進んでいると考えられる。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 河川工事によって生物の生息環境を損なう可能性はあるが、人の命や財産を守るうえで必要不可欠なものであることを写真で説明した。
- 魚の生態や外来生物、川の危険性についての質問が多く、多くのことを理解してもらえたように感じた。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：河川砂防係	氏名：加納　豊史	電話番号（内線）	0572-23-1111（318）

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	多治見市立池田小学校	担当教員名	小山先生	対象学年・人数	４年生６４名
実　施　日	５月２９日(火)		実施場所	大原川	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。

学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（pH、透視度、COD）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。

学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。

学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。

【学習結果と考察】

- pH　9.0　・透視度　92.5cm
- COD　7.0
- 採取した水生生物
  オイカワ、カワムツ、アブラハヤ、ドジョウ、ナマズ、アカザ、ブルーギル、カワヨシノボリ、ミナミヌマエビ
  アメリカザリガニ、コオニヤンマ
- 昨年は、外来種のアメリカザリガニが見られ、今年もブルーギルが捕獲されたことから、川の生態系の多様性が進んでいることが分かる。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 子供たちが水深の深いや流速の早い所に行かないように誘導した。
- 河川工事は、人の財産や命を守るために必要であるということを、実際の洪水時の写真等を見せながら説明した。
  子供たちも真剣に話を聞いており、理解してくれたと思う。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：河川砂防係	氏名：加納　豊史	電話番号（内線）	0572-23-1111（318）

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	多治見市立根本小学校	担当教員名	澤田先生	対象学年・人数	４年生１１１名
実　施　日	６月５日（火）		実施場所	大原川	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。

学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（pH、透視度、COD）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。

学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。

学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。

【学習結果と考察】

- pH　7.0　・透視度　89.5m
- COD　10
- 採取した水生生物
  カワムツ、カワヨシノボリ、ドジョウ、オイカワ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、コオニヤンマ、カワトンボ、ウシカエル、サワガニ
- サワガニ等、比較的水のきれいな川に住む生物が採取されたということで、水質等、良好な状態が保たれていることが分かった。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 川は楽しい反面、注意点を守らないと命を落とす可能性があることを伝えた。子供たちは真剣な表情で話を聞いており。理解してくれたと思う。
- 川幅が狭く足場も悪いため、子供たちが怪我をしないように注意した。
- 夢中で水生生物を捕まえており、楽しみながら学習することができた。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：河川砂防係	氏名：加納　豊史	電話番号（内線）	0752-23-1111（318）

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	土岐市立濃南小学校	担当教員名	堀部先生	対象学年・人数	４年生８名
実　施　日	６月５日（火）		実施場所	肥田川（学校前）	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。

学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（pH、透視度、COD）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。

学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。

学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。

【学習結果と考察】

- pH　6.5　・透視度　95.0cm
- COD　10
- 採取した水生生物
  カワムツ、アブラハヤ、ホトケドジョウ、カワヨシノボリ、サワガニ、オニヤンマ、カワニナ、ガガンボ、トビゲラ
- 清流に生息するといわれるホトケドジョウが数多く採取され、肥田川上流域は、水質の良い状態が保たれているといえる。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 一人一人に時間をかけて生物の捕まえ方等を教えることができた。
- 河川にある構造物が私たちの命や財産を守る役割を果たしているということを、写真を用いながら説明した。子供たちも真剣に話を聞いており、理解してくれたと思う。
- 夢中で水生生物を捕まえており、楽しみながら学習することができた。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：河川砂防係	氏名：加納　豊史	電話番号（内線）	0572-23-1111（318）

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	多治見市立市之倉小学校	担当教員名	岩佐先生	対象学年・人数	４年生３８名
実　施　日	６月１９日(火)		実施場所	市之倉川	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。

学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（pH、透視度、COD）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。

学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。

学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。

【学習結果と考察】

- pH　6.5　・透視度　90cm
- COD　6
- 採取した水生生物
  カワムツ、カワヨシノボリ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、コオニヤンマ、コヤマトンボ、ハグロトンボ
  ウシガエル、シオカラトンボ、
- 子供たちもアメリカザリガニ、ウシガエルを採取しており、改めて、外来生物が多く生息していることが、確認された。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 普段目にしている護岸や落差工がどのような役割を果たしているかを説明し、河川工事の重要性を説明した。
- 実際に川で生物を捕まえる際の捕まえ方等を教えた。
- 教えた通りに一生懸命生物を捕まえる姿が印象的だった。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：河川砂防係	氏名：加納　豊史	電話番号（内線）	0572-23-1111（318）

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	多治見市立共栄小学校	担当教員名	高木先生	対象学年・人数	３年生７２名
実　施　日	６月２６日(火)		実施場所	高田川	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。

学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（pH、透視度、COD）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。

学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。

学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。

【学習結果と考察】

- pH　6.5　・透視度　94.0cm
- COD　10
- 採取した水生生物
  カワムツ、オイカワ、カワヨシノボリ、ミナミヌマエビ、スジエビ、コオニヤンマ、ハグロトンボ、ドジョウ、ホトケドジョウ、サワガニ、アメリカザリガニ
- 清流を好むといわれるドジョウ、ホトケドジョウ、サワガニなどの生息が確認され、希少生物の住みやすい水質が保たれていると考えられる。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 河床がコンクリートになっている部分があり、滑りやすいので注意するように呼びかけを行った
- 川は雨が降ると急に増水することがあるため、雨が降った時や降りそうなときは、川に近づかないように説明した。
- 夢中で水生生物を捕まえており、楽しみながら学習することができた。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：河川砂防係	氏名：加納　豊史	電話番号（内線）	0572-23-1111（318）

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	多治見市立養正小学校	担当教員名	小西先生	対象学年・人数	５年生６０名
実　施　日	６月２６日(火)		実施場所	土岐川	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。

学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（pH、透視度、COD）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。

学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。

学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。

【学習結果と考察】

- 水温　25℃　　pH　7.5　　透視度　90cm
- 採取した水生生物　11 種類
  カワムツ、カワヨシノボリ、アカザ、カマツカ、ナマズ
  フナ、ミナミヌマエビ、モクズガニ
- 土岐川本流での限られた時間での学習であったが、上記のとおり、在来種が多く、外来種は確認されなかったことは、まだ、外来種の生息が少ないということか。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 子供たちに魚の捕まえ方をアドバイスでき、嬉々として総合学習に取り組んでおり、川に対して興味や好奇心をもってもらえたと思う。
- 流速が早いところや水深が深いところがあり、足がすくわれて転倒しないように気を付けた。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：河川砂防係	氏名：加納　豊史	電話番号（内線）	0572-23-1111（318）

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	多治見市立南姫小学校	担当教員名	伊藤先生	対象学年・人数	４年生３０名
実　施　日	１０月　３日(水)		実施場所	姫川	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。

学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（pH、透視度、COD）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。

学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。

学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。

【学習結果と考察】

- pH　6.5　・透視度　70cm
- COD　7.0
- 採取した水生生物
  カワムツ、タモロコ、ドジョウ、ニシシマドジョウ、カワヨシノボリ、モツゴ、アメリカザリガニ、ウシガエル、
- 姫川もウシガエル等の外来種が確認されたが、有識者より駆除の必要性の説明を受け、本来の生態系が脅かされているようであった。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 河床がコンクリートになっている部分があり、滑りやすいので注意するように呼びかけを行った
- 川は雨が降ると急に増水することがあるため、雨が降った時や降りそうなときは、川に近づかないように説明した。
- 意欲的に川で生物を捕まえる姿が見てとれ、川に対する興味を持ってもらえてように思う。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：河川砂防係	氏名：加納　豊史	電話番号（内線）	0572-23-1111（318）

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	多治見市立精華小学校	担当教員名	後藤先生	対象学年・人数	５年生１２６名
実　施　日	１０月５日(金)		実施場所	大原川	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。

学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（pH、透視度、COD）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。

学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。

学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。

【学習結果と考察】

- pH　7.0　　・透視度　100cm 以上
- 採取した水生生物
  オイカワ、カワムツ、アブラハヤ、ギンブナ、ニゴイ、カマツカ、アカザ、ナマズ、ブルーギル、ウシガエル、アメリカザリガニ
- 昨年の学習時には採取されなかったブルーギルが、今回は４匹採取されたということで、外来生物が住みついており心配である。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 子供たちが水深の深いや流速の早い所に行かないように誘導した。
- 河川工事は、人の財産や命を守るために必要であるということを、実際の洪水時の写真等を見せながら説明した。
- 子供たちも真剣に話を聞いており、理解してくれたと思う。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：河川砂防係	氏名：加納　豊史	電話番号（内線）	0572-23-1111（318）

様式①　　（多治見土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	多治見市立池田小学校	担当教員名	小山先生	対象学年・人数	４年生６４名
実　施　日	１０月１２日(金)		実施場所	大原川	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

水生生物がどんな場所にいるのか、川の形状はどうなっているのか、どんな場所が危険なのかを実際に体験しながら川の大切さを学んだ。

学習内容②：川の水質を知る

川で採取した水の水質（pH、透視度、COD）を検査し、同場所で採取した水生生物の種類の両方から、川がどの程度きれいなのかを学び発表した。

学習内容③：川の生態を学ぶ

川で採取した水生生物を種類ごとに分け、個々の生物の名称や特徴を調べ、身近な川にどんな生き物がどれくらいどうやって生息しているかを学んだ。

学習内容④：川の危険性について

降雨による増水、川の形状による急な深さや流れの変化等川に潜む危険、また治水の必要性について学んだ。

【学習結果と考察】

- pH　6.5　　・透視度　100cm 以上
- 採取した水生生物
  オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、アブラハヤ、ギンブナ、ニゴイ、カマツカ、アカザ、ナマズ、ブルーギル、ウシガエル、アメリカザリガニ
- 昨年の学習時には採取されなかったブルーギルが、今回は 5 匹採取されたということで、外来生物が住みついており心配である。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 子供たちが水深の深いや流速の早い所に行かないように誘導した。
- 河川工事は、人の財産や命を守るために必要であるということを、実際の洪水時の写真等を見せながら説明した。
- 子供たちも真剣に話を聞いており、理解してくれたと思う。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：河川砂防担当	氏名：加納　豊史	電話番号（内線）	0572-23-1111（318）

様式①　　（恵那土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	恵那市立岩邑小学校	担当教員名	髙橋先生	対象学年・人数	４年生４７名
実　施　日	４月２６日（木）、６月２８日（木）		実施場所	岩村川（岩村橋付近）	
テ　ー　マ	「ダム、河川環境を学ぶ」 ダム及び現在の河川環境を学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：　岩村ダムの役割について学ぶ

　ダムの模型を用いて実験を行い、岩村ダムがどのような仕組みで皆の町を守っているかを学んだ。

学習内容②：ダム本体の見学

　ダムの堤体や内部に入り、どのような構造となっているかを知ることができた。

学習内容③：岩村川の生態を学ぶ

　実際に川に入り採取した生物を種類別に分け、指標生物の載った下敷き等を使い、岩村川がどのような川であるかを班ごとでまとめて意見を発表した。

学習内容④：川の安全な楽しみ方を学ぶ

　川の中に入ることで、川の危険な場所や安全に遊ぶ方法について説明してもらい、学ぶことができた。

【学習結果と考察】

- 確認できたのは、ヨシノボリ、ヤゴ、カワニナなど。
- ややきれいな川に住む生き物が多く、岩村川はややきれいな川という結果になった。
- 去年と同様にややきれいな川であり、きれいな川が保たれていることが分かった。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- ダムの模型を使うことで、視覚的にわかりやすくダムの仕組みを理解してもらえたと感じた。
- 岩村川では、川とのふれあい方、安全に遊ぶ方法や環境について学んでもらえた。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１名参加）

記入者	所属：河川係	氏名：田中　伸幸	電話番号（内線）	0573-26-1111（347）

様式①　　（恵那土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	恵那市立大井小学校	担当教員名	富田先生	対象学年・人数	４年生５９名
実　施　日	６月２５日（月）、６月２６日（火）		実施場所	横町川（大井小学校付近）	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 現在の河川環境を学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：　横町川とのふれあい方を学ぶ

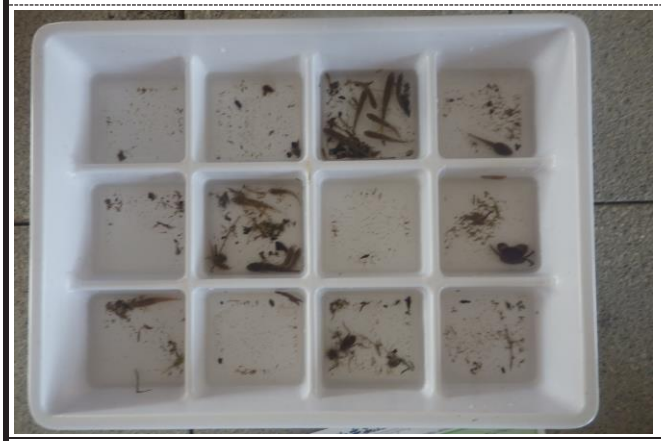
水生生物がどこにいて、どのように捕まえて、どんなところが危険なのかを学んだ。

学習内容②：カワゲラウォッチング

楽しみながら活動を行い、いろいろな生物を採取することができた。

学習内容③：横町川の生態を学ぶ

実際に川に入り採取した生物を種類別に分け、指標生物の載った下敷き等を使い、横町川がどのような川であるかを班ごとでまとめて意見を発表した。



学習内容④：川の安全な楽しみ方を学ぶ

川の中に入ることで、川の危険な場所や安全に遊ぶ方法について説明してもらい、学ぶことができた。

【学習結果と考察】

- 確認できたのは、ヨシノボリ、ヤゴなど。
- ややきれいな川に住む生き物が多く、横町川はややきれいな川という結果になった。
- 去年と同様にややきれいな川であり、きれいな川が保たれていることが分かった。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 職員や先生と楽しく生物採取を行っていた。
- 上流に深い場所があり、川には危ない場所があると学んでもらえたと感じた。
- 横町川には様々な生物がいて、環境について興味を持ってもらえたと感じた。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１名参加）

記入者	所属：河川係	氏名：田中　伸幸	電話番号（内線）	0573-26-1111（347）

様式①　　（恵那土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	恵那市立大井第二小学校	担当教員名	岩島先生	対象学年・人数	４年生６５名
実　施　日	６月２７日（水）、７月１７日（火）		実施場所	濁川（筋違橋付近）	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 現在の河川環境を学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：　濁川とのふれあい方を学ぶ

　水生生物がどこにいて、どのように捕まえて、どんなところが危険なのかを学んだ。

学習内容②：カワゲラウォッチング

　職員や先生とともに楽しみながら活動を行い、いろいろな生物を採取することができた。

学習内容③：濁川の生態を学ぶ

　採取した生物を種類別に分け、濁川がどのような川であるかを班ごとでまとめて意見を発表した。ホタルの幼虫のような珍しい生物も見つかった。

学習内容④：川の安全な楽しみ方を学ぶ

　川の中に入ることで、川の危険な場所や安全に遊ぶ方法について説明してもらい、学ぶことができた。

【学習結果と考察】

- 確認できたのは、ヨシノボリ、ヤゴ、カワニナなど。
- ややきれいな川に住む生き物が多く、濁川はややきれいな川という結果になった。
- ホタルの幼虫のような珍しい生物を見つけることができた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 職員や先生と楽しく生物採取を行っていた。
- 濁川には様々な生物がいて、環境について興味を持ってもらえたと感じた。
- 滑りやすい危険な場所があり、川で遊ぶ際に注意する必要性を感じてもらえたと思う。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１名参加）

記入者	所属：河川係	氏名：田中　伸幸	電話番号（内線）	0573-26-1111（347）

様式①　　（恵那土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	恵那市立中野方小学校	担当教員名	水野先生	対象学年・人数	４年生１０名
実　施　日	９月１１日（火）		実施場所	中野方ダム	
テ　ー　マ	「中野方ダムを学ぶ」		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：　中野方ダムについて学ぶ

　ダムの模型を用いた実験を行い、どのような仕組みで皆の町を守っているかを学んだ。

学習内容②：中野方ダム内部を見学

　ダム内部に入り、ダムの大きさを知り、どのような構造になっているかを学んだ。

学習内容③：川とのふれあい方を学ぶ

　ダムによって川や町の安全が保たれていることを知り、最後に川で遊ぶ際の注意点などを学んだ。

学習内容④：中野方ダムが部を見学

　ダムを外部から見学し、その大きさを実感することができた。

【学習結果と考察】

- 中野方ダムの役割について、模型による実験を行うことでより分かりやすく学んでもらえた。
- 普段は入ることのできない堤体や事務所に入り、構造や仕組みを学んでもらい、貴重な体験をしてもらえたと思う。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- ダムの役割について説明し、どのように町を守っているかを学んでもらえたと感じた。
- ダムの中に入るという貴重な体験をして喜んでもらえたと感じた。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１名参加）

記入者	所属：河川係	氏名：田中　伸幸	電話番号（内線）	0573-26-1111（347）

様式①　　（下呂土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	下呂市立宮田小学校	担当教員名	川上先生	対象学年・人数	３年生１０名
実　施　日	６月１５日（金）		実施場所		山之口川（中霧橋下流）
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 山之口川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	下呂市役所環境課	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

山之口川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川での歩き方を身につけるとともに、どんな場所に生物が生息しているかを学ぶことができた。

学習内容②：山之口川の生態を学ぶ

採取した水生生物を種類ごと分け、様々な生物の名称を知るとともに、山之口川に、どんな生き物がどれくらい生息しているかを体感することができた。

学習内容③：山之口川の水質を知る

山之口川で採水した水生生成物を基に、結果発表した。

学習内容④：川の危険性について

川は楽しいところであるが、子どもだけではいかない、必ず大人と一緒に行くことをお願いした。

【学習結果と考察】

・　採水した水生生成物を基に、きれいな水である事が判った。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・　子ども達は川の中で生き生きしていた。
・　子ども達の川への興味・関心が高まった。

備　　考	子ども達から感想文をいただきました。【巻末資料７８頁掲載】

記入者	所属：河川砂防係	氏名：足立裕一	電話番号（内線）	0576-52-3111（322）

様式①　　（下呂土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	下呂市立菅田小学校	担当教員名	熊原先生	対象学年・人数	３・４年生１５名
実　施　日	６月２２日（金）		実施場所	菅田川（平瀬橋下流）	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 菅田川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	下呂市役所環境課	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

菅田川に実際に入って、水生生物の採取を行うことで、川での歩き方を身につけるとともに、どんな場所に生物が生息しているかを学ぶことができた。

学習内容②：菅田川の生態を学ぶ

採取した水生生物を種類ごと分け、様々な生物の名称を知るとともに、菅田川に、どんな生き物がどれくらい生息しているかを体感することができた。

学習内容③：菅田川の水質を知る

菅田川で採水した水生生成物を基に、結果発表した。

学習内容④：川の危険性について

川は楽しいところであるが、子どもだけではいかない、必ず大人と一緒に行くことをお願いした。

【学習結果と考察】

- 採水した水生生成物を基に、きれいな水である事が判った。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 子ども達は川の中で生き生きしていた。
- 子ども達の川への興味・関心が高まった。

備　　考	子ども達が学習発表会を行いました。【巻末資料７９～８０頁掲載】

記入者	所属：河川砂防係	氏名：足立裕一	電話番号（内線）	0576-52-3111（322）

様式①　　（高山土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	高山市立南小学校	担当教員名	榎先生	対象学年・人数	５年生６８名
実　施　日	７月１８日（水）		実施場所		苔川（岡本橋上下流）
テ　ー　マ	カワゲラウォッチング 川の安全利用講習		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	飛騨県事務所（環境課）	

学習内容①：　カワゲラウォッチング①

苔川に棲む水生生物を採取し、川には多種多様な生物が棲んでいることを確認した。

学習内容②：カワゲラウォッチング②

日陰や日向等、同じ川の中でも違う生物が棲んでいることを確認した。

学習内容③：指標生物から川の清濁を知る

採取した水生生物を分別し、指標を用いて宮川の水質を調べた。

学習内容④：川の安全利用講習

豪雨災害の事例を知り、水難事故に合わないための基本的な知識を得た。

【学習結果と考察】

- 採取された生物やパックテストを通じて宮川の下流域についての水質を確認した。
- 洪水時の川の危険な部分を知り、川で遊ぶ時の注意点を学習することができた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- カワゲラウォッチングを通して川で遊ぶことの楽しさを知る一方で、川の危険な部分の学習もした。川に対する興味を失わないでほしい。
- ヒルが多く発見され、綺麗だと思っていた苔川が意外と汚れていることが判明した。今後、生活していくうえで、川のことも頭において生活してもらえると思う。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：河川砂防係	氏名：坂東　照仁	電話番号（内線）	0577-33-1111（395）

様式①　　（高山土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	高山市役所	担当教員名	－	対象学年・人数	小年生６０名
実　施　日	７月２４日（火）		実施場所	宮川・苔川	
テ　ー　マ	カワゲラウォッチング 川の安全利用講習		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	飛騨県事務所（環境課） 高山市環境政策部生活環境課	

学習内容①：　カワゲラウォッチング

　宮川・苔川に分かれ、各流域における水生生物の採取を行った。

学習内容②：水生生物の調査

　採取した水生生物を持ち帰り、流域ごとに採取された生物の名前を確認し、集計作業を行った。

学習内容③：結果発表

　流域ごとに集計したものにより、水質を調べた。どんな生物がどんな水質に生息しているのか学習した。

学習内容④：川の安全利用講習

　豪雨災害の事例を知り、水難事故に合わないための基本的な知識を得た。

【学習結果と考察】

- 流域ごとの調査をおこなうことでどんな場所にどんな生物が生息しているのか学んだ。
- 流域ごとの水質を確認することで、人間の生活が付近の環境に負荷をかけていることを学んだ。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- カワゲラウォッチングを通して川で遊ぶことの楽しさを知る一方で、川の危険な部分の学習もした。川に対する興味を失わないでほしい。
- 川の綺麗さは流域によって様々であるが、平均すると比較的綺麗であることが判明した。生徒たちにはこれからも水質の維持向上を心掛けて生活してほしい。

備　　考	岐阜県自然工法管理士（１人参加）

記入者	所属：河川砂防係	氏名：坂東　照仁	電話番号（内線）	0577-33-1111（395）

様式①　　（古川土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	飛騨市立神岡小学校	担当教員名	都竹先生	対象学年・人数	４年生６０名
実　施　日	６月２６日（火）		実施場所	高原川（西里橋下流）	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 高原川の現状や川とのふれあい方を学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	飛騨県事務所環境課	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

カワゲラウォッチングを実施し、高原川に住む生物の採取を行った。川の中には様々な生物が生息していることを学んだ。

学習内容②：高原川の生態を学ぶ

グループに分かれて、高原川で採取した水生生物の種類を判別し、集計を行った。集計結果を各グループで発表した。

学習内容③：高原川の水質を知る

採取した水生生物がどのような水質で生息しているのかを学んだ。グループの発表結果より、高原川がどのような河川なのか考えた。

学習内容④：川の危険性について

川には危険な側面もあるため、川に入る際には子供だけではなく大人と一緒に入るなど、安全面に気を付ける必要があることを学んだ。

【学習結果と考察】

- カワゲラウォッチングの結果、きれいな水に生息するカワゲラ、カゲロウ類が多く採取された。例年通りの結果となっており、高原川の水質が良好な状態で保たれていることが確認できた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 天候に恵まれ、児童達は楽しみながらカワゲラウォッチングを行うことができた。
- 高原川の良好な水質を示す、カワゲラやカゲロウを児童達が実際に採取できたことにより、環境に対して関心をもってもらうことができた。
- 河川の危険性について注意喚起を行い、河川に入る際の注意事項等を認識してもらうことができた。

備　　考	６月２７日（水）岐阜新聞（飛騨版）に総合学習の記事が掲載された。【巻末資料８２頁掲載】

記入者	所属：河川砂防係	氏名：小林 和馬	電話番号（内線）	0577-73-2911（262）

様式①　　（古川土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	飛騨市立山之村小学校	担当教員名	松久先生	対象学年・人数	４・６年生６名
実　施　日	７月１３日（金）		実施場所		森茂谷（森茂橋上流）
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 森茂谷の現状や川とのふれあい方を学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	飛騨県事務所環境課	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

カワゲラウォッチングを実施し、森茂谷に住む生物の採取を行った。川の中には様々な生物が生息していることを学んだ。

学習内容②：森茂谷の生態を学ぶ

森茂谷で採取した水生生物の種類を判別し、集計をい結果を発表した。

学習内容③：森茂谷の水質を知る

採取した水生生物がどのような水質で生息しているのかを学んだ。また、飲料水と川の水との違いについて水質実験を用いて学んだ。

学習内容④：

【学習結果と考察】

・ 飲料水と河川の水との違いについて、児童の前で水質実験を用いて説明したことにより、飲料水を河川に流すことの影響を学ぶことができた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・ ７月豪雨災害後のカワゲラウォッチングの実施であったが、児童達が実際にカワゲラを採取することができ、森茂谷の水質が良好であることが確認できた。

備　　考	

記入者	所属：河川砂防係	氏名：小林 和馬	電話番号（内線）	0577-73-2911（262）

様式①　　（古川土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	飛騨市立古川西小学校	担当教員名	古里先生	対象学年・人数	４年生５７名
実　施　日	７月１３日（金）		実施場所	宮川（新鮎之瀬橋下流）	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 宮川の現状や川とのふれあい方を学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	飛騨県事務所環境課	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

カワゲラウォッチングを実施し、宮川に住む生物の採取を行った。川の中には様々な生物が生息していることを学んだ。

学習内容②：宮川の生態を学ぶ

グループに分かれて、宮川で採取した水生生物の種類を判別し、集計を行った。集計結果を各グループで発表を行った。

学習内容③：宮川の水質を知る

採取した水生生物がどのような水質で生息しているのかを学んだ。グループの発表結果より、宮川がどのような河川なのか考えた。

学習内容④：川の危険性について

川には危険な側面もあるため、川に入る際には子供だけではなく大人と一緒に入るなど、安全面に気を付ける必要があることを学んだ。

【学習結果と考察】

- 宮川の水位が少し高い状況でのカワゲラウォッチングであったが、水生生物を多く採取することができていた。
- カワゲラやカゲロウが少なく、ヘビトンボやトビゲラ類の採取量が多かった。
- 水質は、ややきれいな水に分類されることが確認できた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

- 児童達にカワゲラウォッチングを通して河川に親しんでもらい、宮川の水質について知る良い機会となった。
- 河川の安全利用講習を行い、河川の危険な側面について説明することで、児童達に適切な河川利用について認識してもらうことができた。

備　　考	子ども達から感想の手紙をいただきました。【巻末資料８１頁掲載】

記入者	所属：河川砂防係	氏名：小林 和馬	電話番号（内線）	0577-73-2911（262）

様式①　　（古川土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	飛騨市立宮川小学校	担当教員名	倉坪先生	対象学年・人数	３・４年生４名
実　施　日	７月１７日（火）		実施場所	宮川（平和橋上流）	
テ　ー　マ	「河川環境を学ぶ」 宮川の現状や川とのふれあい方を学ぶ		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	飛騨県事務所環境課	

学習内容①：川とのふれあい方を学ぶ

カワゲラウォッチングを実施し、宮川に住む生物の採取を行った。川の中には様々な生物が生息していることを学んだ。

学習内容②：宮川の生態を学ぶ

宮川で採取した水生生物の種類を判別し、集計結果を発表を行った。

学習内容③：川の危険性について

川には危険な側面もあるため、川に入る際には子供だけではなく大人と一緒に入るなど、安全面に気を付ける必要があることを学んだ。

学習内容④：

【学習結果と考察】

・　７月豪雨の影響かカワゲラやカゲロウを含む水生生物の全体的な採取量が少なく、多くのカワゲラやカゲロウを採取できた前年度とは、異なる結果となった。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・　今年度は、残念ながら前年と比較して水生生物の採取量が少なかったが、児童達は楽しんでカワゲラウォッチングを実施することができていた。
・　河川の危険性について児童達に注意喚起を行い、適切な河川利用を認識してもらった。

備　　考	

記入者	所属：河川砂防係	氏名：小林 和馬	電話番号（内線）	0577-73-2911（262）

様式①　　（古川土木事務所　河川砂防課）

支援学校名	飛騨市立古川西小学校	担当教員名	川上先生	対象学年・人数	５年生５１名
実　施　日	１１月１日（木）		実施場所	古川西小学校（宮川）	
テ　ー　マ	「伝統的防災マップを利用した地域防災教育」 伝統的防災施設（霞堤・輪中堤）について学び、地域防災について理解を深める。		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関		

学習内容①：伝統的防災施設の学習

伝統的防災施設である、霞堤・輪中堤の仕組みや働きを学習した。また、過去に発生した水害についての説明を行った。

学習内容②：霞堤開口部の見学

堤防の上を歩いて宮川の霞堤開口部まで行き、身近な伝統的防災施設があることで、地域が守られていることを認識してもらった。

学習内容③：霞堤の模型を用いて実験

霞堤の仕組みを実感してもらうために、模型を用いて実験を行った。住宅街に河川の水が到達するまでの時間を計測し、霞堤の効果を確認した。

学習内容④：学習内容の発表

伝統的防災施設の講義、現地での確認、実験等で学んだことから、分かったことや感じたことについて児童達の発表を行った。

【学習結果と考察】

・ 伝統的防災施設の霞堤が身近にあることを認識してもらうために、実際に小学校から霞堤の開口部まで歩き、確認することで、より霞堤について考えてもらうことができた。

【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】

・ 霞堤の模型を用いた実験を行い、霞堤の有り無しでどのような影響が発生するのか、実験を通じて楽しみながら児童達の霞堤に対する関心を深めることができた。
・ 児童からの感想文をいただき、実際に霞堤開口部まで移動して説明を行ったことや、模型の実験を通じて伝統的防災施設への理解が深まったことが確認できた。

備　　考	

記入者	所属：河川砂防係	氏名：小林 和馬	電話番号（内線）	0577-73-2911（262）

様式①　　（県庁　河川課）

支援学校名	―	担当教員名	―	対象学年・人数	年長～６年生３３名
実　施　日	８月２０日（月）		実施場所	河川環境楽園　自然発見館	
テ　ー　マ	清流の国ぎふ水環境イベント 清流の国ぎふの“川遊び名人”になろう！		分　類	治水 ・ 環境 ・ 砂防 ・ 安全啓発	
			連携機関	河川環境楽園　自然発見館	

学習内容①：洪水と治水を学ぼう（模型実験）

霞堤模型を使って洪水から街を守る仕組みを学びます。

学習内容②：

防災カードゲームを使って、洪水時の注意点や身を守る方法を学びます。

学習内容③：川で安全に遊ぶためのルールを学ぼう

川で遊ぶ際の注意事項や、ライフジャケットの着用方法を学びます。

学習内容④：水生生物を探して、川の環境を学ぼう

北派川の生き物調査を行い、川の生き物やその生息環境を学びます。

【学習結果と考察】

- 洪水・防災のことを学ぶいい機会になった。
- 参加者からは「川遊びの注意事項を知ることができた」、「川にはたくさんの種類の魚がいた」、「堤防の役割がわかった」との感想をいただいた。

【河川課担当者の所感（当事業の成果等）】

- 子ども達に堤防の役割や防災の重要性を理解してもらえるよう、模型やカードゲームを使用した。
- ７月豪雨直後の開催であったため、防災への関心が高く、保護者にとっても有意義なイベントにできた。
- 川とふれあう機会が減少するなかで、川で安全に遊ぶことの楽しさを伝えることができた。

備　　考	年長１名、１年生９名、２年生８名、３年生３名 ４年生４名、５年生３名、６年生５名

記入者	所属：企画環境係	氏名：中内　惇夫	電話番号（内線）	058-272-1111（3727）

様式①　　（県庁　砂防課）

支援学校名	―	担当教員名	―	対象学年・人数	子ども２１名 保護者１５名
実　施　日	１１月１１日(日)		実施場所	海津市内 （木曽三川公園、さぼう遊学館）	
テ　ー　マ	「砂防を学ぶ」 土砂災害について知ってもらい、土砂災害から身を守る方法を学んでもらう。		分　類	治水 ・ 環境 ・ [砂防] ・ 安全啓発	
			連携機関	岐阜県砂防協会	

学習内容①：　養老山地の説明

木曽三川公園の展望タワーから養老山地の説明を受け、扇状地など地形の特徴について学ぶことができた。

学習内容②：砂防堰堤の見学

羽根谷砂防堰堤を見学し、土石流や堰堤の役割を認識し、土砂災害の危険性を学ぶことができた。

学習内容③：講師による土砂災害に関する説明

ハザードマップや土砂災害警戒区域について説明を受け、土砂災害から身を守るための方法を学習した。

学習内容④：模型等による土石流のしくみを体験

模型を用いて、土石流の仕組みや砂防堰堤の効果を体験した。

【学習結果と考察】

- 土砂災害の危険性について学び、砂防堰堤の必要性を知ることができた。
- 普段は立ち入らないような場所から施設を間近に見学し、その構造や効果について身を持って学習した。

【砂防課担当者の所感（当事業の成果等）】

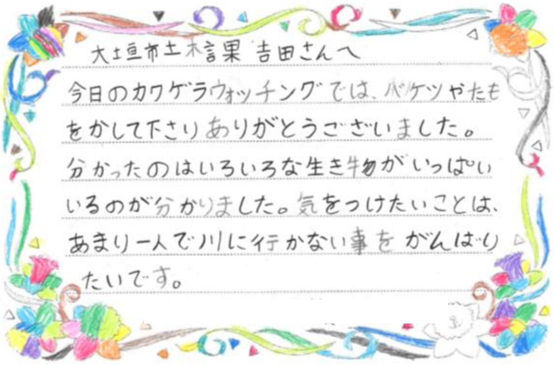
- 普段は余りなじみのない土砂災害について、興味をもってもらうことができた。
- 模型実験により砂防堰堤の重要性を感じていた。
- 土砂災害に対して、日頃から備えておくべきことを理解してもらうことができた。

備　　考	参加者内訳（保護者：１５名、子ども：２１名）

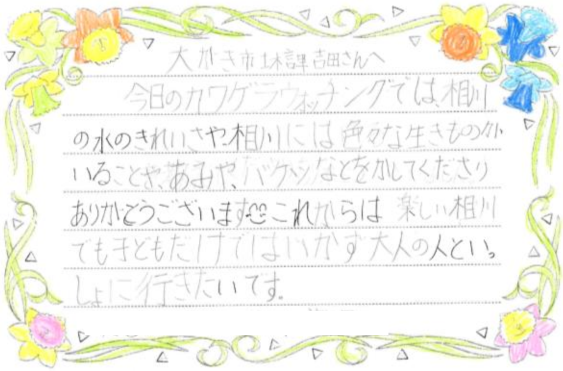
記入者	所属：企画係	氏名：平林　悠	電話番号（内線）	058-272-1111（3743）

支援学校名	垂井町立垂井小学校	（ １ ／ １ ）	関連ページ	１０ページ

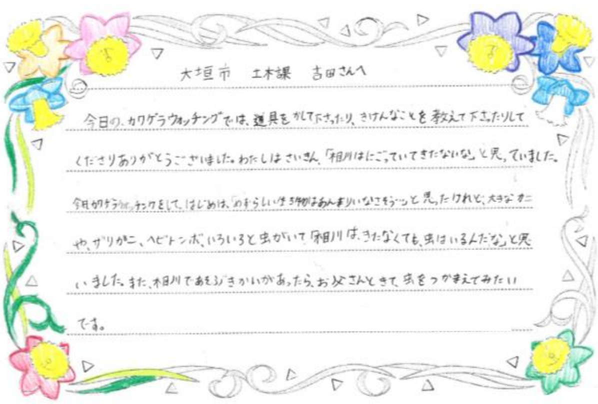
【児童からの手紙】



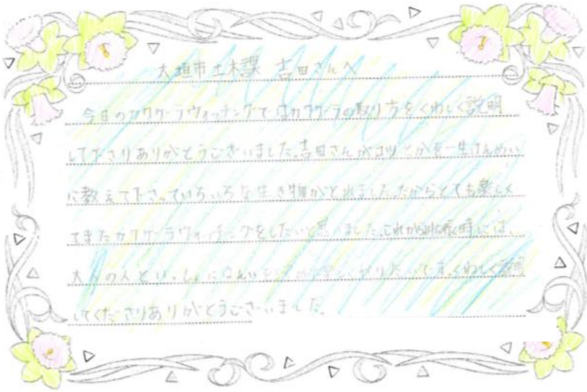
大垣市土木課 吉田さんへ
今日のカワゲラウォッチングでは、バケツやたもをかして下さりありがとうございました。
分かったのはいろいろな生き物がいっぱいいるのが分かりました。気をつけたいことは、あまり一人で川に行かない事をがんばりたいです。



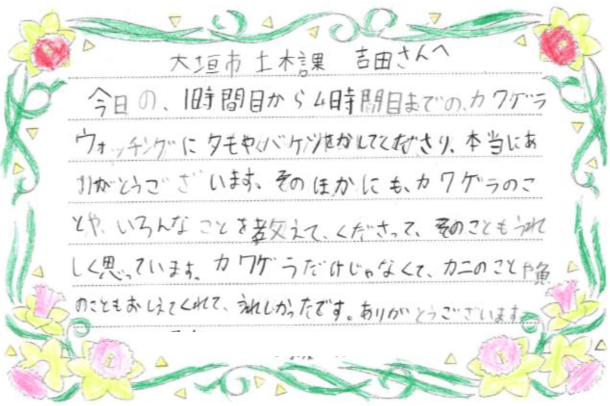
大垣市土木課吉田さんへ
今日のカワゲラウォッチングでは相川の水のきれいさや相川には色々な生きものがいることや、あみや、バケツなどをかしてくださりありがとうございます。これからは楽しい相川でも子どもだけではいかず大人の人といっしょに行きたいです。



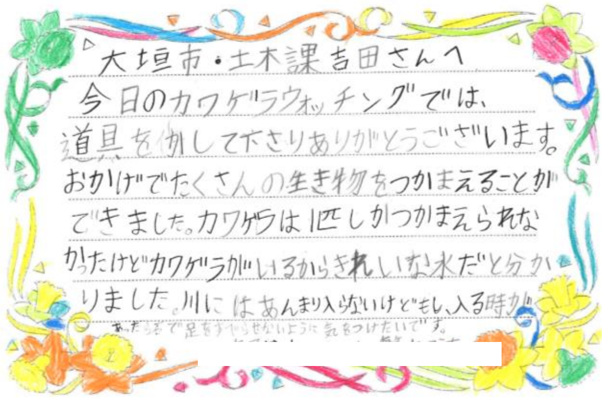
大垣市　土木課　吉田さんへ
今日の、カワゲラウォッチングでは、道具をかして下さったり、きけんなことを教えて下さったりしてくださりありがとうございました。わたしはさいきん、「相川はにごっていてきたないな」と思っていました。今日カワゲラウォッチングをして、はじめは、「めずらしい生き物はあんまりいなさそう」っと思ったけれど、大きなカニや、ザリガニ、ヘビトンボ、いろいろと虫がいて「相川は、きたなくても、虫はいるんだな」と思いました。また、相川であそぶきかいがあったら、お父さんときて、虫をつかまえてみたいです。



大垣市土木課　吉田さんへ
今日のカワゲラウォッチングではカワゲラの取り方をくわしく説明して下さりありがとうございました。
いしてくださりありがとうございました。



大垣市 土木課　吉田さんへ
今日の、1時間目から4時間目までの、カワゲラウォッチングにタモやバケツをかしてくださり、本当にありがとうございます。そのほかにも、カワゲラのことや、いろんなことを教えてくださって、そのこともうれしく思っています。カワゲラだけじゃなくて、カニのこと魚のこともおしえてくれて、うれしかったです。ありがとうございます。



大垣市・土木課吉田さんへ
今日のカワゲラウォッチングでは、道具を貸して下さりありがとうございます。おかげでたくさんの生き物をつかまえることができました。カワゲラは1匹しかつかまえられなかったけどカワゲラがいるからきれいな水だと分かりました。川にはあんまり入らないけどもし、入る時があったら岩で足をすべらせないように気をつけたいです。

記入者	所属：河川第一係	氏名：原　美幸	電話番号（内線）	0584-73-1111（373）

支援学校名	美濃市立中有知小学校	（ 1 ／ 1 ）	関連ページ	１９ページ

【新聞記事】

長良川の水質は？
4年生が生物調査
美濃・中有知小

美濃市中有知小学校四年生二十九人が二十九日、同市生櫛の長良川の河原で、川に生息する生物の調査に取り組んだ。

川を題材として地球環境を学ぶ同校の総合的な学習の一環。県美濃土木事務所（美濃市）の職員三人が調査に協力した。

児童は六班に分かれ、川に転がる石を裏返すなどして昆虫やエビ、貝などを探した。「きれいな水」「汚い水」など水質ごとに生息する生物をまとめた写真のリストを見ながら、集めた生物を分類してその数を数えた。

調査では、きれいな水で見られるカワゲラやヒラタカゲロウの幼虫が多く見つかった。長尾爽亮君（九つ）は「川にこんなにたくさんの虫がすんでいるとは知らなかった。長良川がきれいな水と分かって良かった」と話した。（鈴木太郎）

川の石を裏返して見つけた水生昆虫などを河原で分類する児童たち＝美濃市生櫛で

平成30年5月30日（水）中日新聞　中濃版

記入者	所属：河川係	氏名：上野　公彦	電話番号（内線）	0575-33-4011（321）

支援学校名	郡上市立吉田小学校	（ 1 ／ 2 ）	関連ページ	２６ページ

【新聞記事】

清流にすむ生き物いるかな

美並 吉田小5年生 粥川で調査

郡上市吉田小学校の五年生児童十二人が二十五日、同市美並町の粥川で、清流の水生生物を調べた。「清流長良川の鮎」として世界農業遺産に認定されている長良川流域の自然を学ぶ総合学習で、郡上土木事務所の職員が講師を務めた。簡易水質検査で粥川の水に含まれる有機物がほとんどないことを確認した後、児童は網を手に水生生物を探し回った。川底の石の裏や岩の間にたまった木の葉からは多くの水生昆虫が見つかった。

児童が種類を調べると、カワゲラやトビケラ、ヘビトンボなど、多くが清流にすむ生き物だった。同事務所河川砂防課の藤原雅司さん(四)は「こんな川を大事にして、ごみを捨てないよう守っていこう」と呼びかけた。河合富雅君は「きれいな水にすむ虫がたくさん捕れて、本当にきれいな川なんだと思った」と話していた。（林勝）

川底の石を裏返して水生生物を熱心に探す児童ら＝郡上市美並町で

平成30年5月26日(土)
中日新聞　中濃版

水中の生き物を探す児童＝郡上市美並町高砂、粥川

児童「カワゲラ見つけた」

郡上市の吉田小 粥川で生き物観察

郡上市美並町上田の吉田小学校の５年生12人が、同町高砂の粥川でカワゲラウオッチングを行い、川の生き物の観察や水質調査を体験した。

地域の環境を学ぶ総合的な学習の一環で、県郡上土木事務所職員が指導した。

児童はまず、化学的酸素要求量（ＣＯＤ）を測るパックテストで水質調査を行い、粥川の水が最もきれいとされる水準だと確認。その後、川に入り川底の石を動かしてたもで何回も水中をすくって生き物を探した。

１時間ほどかけて、体長２、３㌢のカワゲラ、ヒラタカゲロウ、ヘビトンボなどきれいな川に生息する生物を数多く採取。野村怜華さんは「粥川は、ほかの街に自慢できるきれいな川だと分かった」と話した。（田代理加）

平成30年5月27日(日)
岐阜新聞　中濃版

記入者	所属：河川係	氏名：藤原　雅司	電話番号（内線）	0575-67-1111（344）

支援学校名	郡上市立吉田小学校	(　２　／　２　)	関連ページ	２６ページ

【児童からの手紙】

土木事務所のみなさんへ

先日は、カワゲラウォッチングで、川の中の虫の事について教えてくださり、川がきれいだということを調べるパックテストなどをさせていただきありがとうございました。
ぼくは、川の中のこん虫を調べた時、どんな虫がいるかわくわくしたうえ、いろいろなことを学べたので、心に残っています。くわしく言うとぼくは貝が見つかった時、うれしかったです。また、そういう生き物がどこにいるか、そして、どんなに粥川がきれいか学べました。
これからも、川へ行ったら、川の中のこん虫を探して見たいと思います。
これからも元気でいてください。
吉田小 5年

土木事務所のみなさんへ

先日は、ありがとうございました。
カワゲラウォッチングをして、きれいな水にすんでいる虫や魚などが、粥川にはいっぱいいたので、粥川は、とても水がきれいだということが分かりました。
石をひっくりかえしただけでカワゲラなどがいるのでおどろきました。パックテストをやって粥川の水はとてもきれいなことがよく分かりました。きちょうなたいけんをさせていただき本当にありがとうございました。
吉田小 5年

土木事務所の方へ

先日の野外学習で行ったカワゲラウォッチングでは川の虫についていろいろ教えてくださりありがとうございました。ぼくは、カワゲラがいる川は、きれいだということが分かりませんでした。でも、土木事務所の方に教えてもらい、きたない水では生きていけない虫だということが分かりました。ぼくは、一ぴきしか見つけられませんでした。でも、とても大きかったので成長したらどんな虫になるのかなと思いました。カワゲラのことを教えていただき本当にありがとうございます。
5年

土木事務所のみなさんへ

先日は、わたしたちのために、川のことについていろいろ教えて下さり、ありがとうございました。川がきれいかどうかを調べる方法は、2つあるということが分かりました。1つ目のパックテストでは、1番良い色がでたので粥川の水はとてもきれいだということが分かりました。2つ目の川の虫を調べる方法では、とてもきれいな川や、きれいな川に住む虫が多かったので、改めて、粥川の水は、きれいだということに気づきました。わたしは川にごみをすてないようにしたいです。また、きれいな粥川の水が続くといいと思いました。
本当にありがとうございました。
吉田小 5年

土木事務所の方へ

先日の野外学習で行ったカワゲウォッチングでは大変お世話になりました。ぼくは、はじめカワゲラがいる川はきれいということは知りませんでした。でも、土木事務所の方が教えてくださったおかげでカワゲラがいる川はきれいな川だということが分かりました。はじめは、カワゲラを見つけることができなかったけどこつを教えてくださったおかげでつかまえれそうな時がありました。本当にありがとうございました。
吉田小 5年

土木事務所のみなさんへ

先日は、ありがとうございました。カワゲラウォッチングでは、川の中にすむ虫のカワゲラをさがしていると、魚やいろんな虫を見れてとても勉強になりました。とれた虫や魚は多くなかったけれども、川がきれいでとてもたのしかったです。
今度川に行く機会があったら行ってみたいです。
5年

土木事務所のみなさんへ

先日は、カワゲラウォッチングをさせていただきありがとうございました。
粥川に入った時、川の水がとてもきれいでびっくりしました。それでカワゲラを一生けん命探しましたが、ぼくは見つけることができませんでした。だから、友達に取ったものを見せてもらいました。すると、どこかで見たことがあるような気がしました。友達にどこにいたか聞きました。すると、石の下にかくれていたので、石をどかしたらいたと教えてくれました。
ぼくは、カワゲラウォッチングをして、川にはふだん気がつかない、いろいろな生き物がいることが分かりました。今度川へ行った時は、今日見つけることができなかったカワゲラを見つけてみたいと思いました。
吉田小 5年

土木事務所のみなさんへ

先日は、カワゲラウォッチングをさせていただきありがとうございました。
ぼくは、粥川の水が、こんなきれいなことを知り、とてもおどろきました。
ぼくが転んだ時に、すぐに川岸にあげていただき、ありがとうございました。
おしくもカワゲラはとれなかったけど、とても楽しかったです。
カワゲラウォッチングをさせていただき、本当にありがとうございました。
吉田小 5年

土木事務所のみなさんへ

先日は、粥川の水についてたくさん教えてくださり、ありがとうございました。
わたしは、粥川の水のきれいさを調べたとき、薬の色がピンクから変わらなかったことや、他のグループのを見ると、たくさんの種類があったことが心にのこりました。いつも遊んでいる長良川で、カワゲラなどの虫を見たことがないので、粥川はきれいで、虫たちが住むには、最てきな場所なんだなあと思いました。本当に、ありがとうございました。
吉田小 5年

土木事務所のみなさんへ

先日はぼくたちのために、カワゲラなどの川の虫のことや粥川の水はどれだけきれいなのかなどを教えて下さりありがとうございました。ぼくは粥川の水がとてもきれいだということが分かったので、粥川以外の川もきれいにするため、ごみをひろいたいと思いました。
また、土木事務所のみなさんのおかげで、川の虫をたくさん見ることができたので、とてもうれしかったです。
本当にありがとうございました。
5年

土木事務所のみな

先日は、カワゲラウォッチングをさせていただきありがとうございました。ぼくは、あんなに、川虫がいるということを知らなかったので、とても勉きょうになりました。かゆ川は、とてもきれいだということが、とてもよくわかりました。これからもきれいな郡上の川を大切にしていきたいです。おいそがしい中たくさんの方に来ていただきありがとうございました。本当にありがとうございました。
吉田小5年

土木事務所のみなさんへ

先日は、カワゲラウォッチングやパックテストについて教えていただきありがとうございました。カワゲラウォッチングでは、きれいな水にしかすんでいないカワゲラやヒゲナガトビケラがたくさんいることが分かりました。だから、この粥川をよごさないようにしたいです。
パックテストでも、粥川の水はすごくきれいな水だとわかりました。
このように、たくさんの事を教えていただき本当にありがとうございました。
5年

記入者	所属：河川係	氏名：藤原　雅司	電話番号(内線)	0575-67-1111 (344)

支援学校名	郡上市立牛道小学校	（　１　／　１　）	関連ページ	２７ページ

【児童からの手紙】

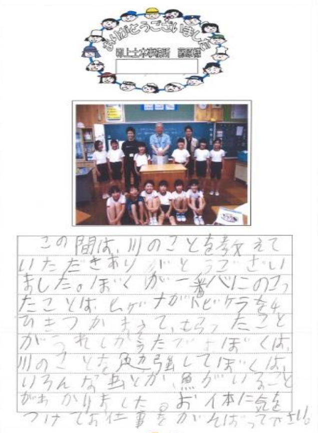
この間は、川のことを教えていただき、ありがとうございました。わたしが一番に心にのこったことは、川の生き物をつかまえたことです。わけは、いろいろな生き物をつかまえて調べたことがとても楽しかったからです。
わたしは、川のことを勉強して、ごみをすてないようにしたいと思いました。みなさんもお体に気をつけてお仕事をがんばってください。

この間は川のことを教えていただきありがとうございました。ぼくが1番心にのこったことは、いっしょに川のむしをつかまえたりパックテストをして楽しかったことです。ぼくは、川のことを勉強して、これからもとてもきれいな牛道川をよごさないできれいなまま守っていけるようにしたいです。

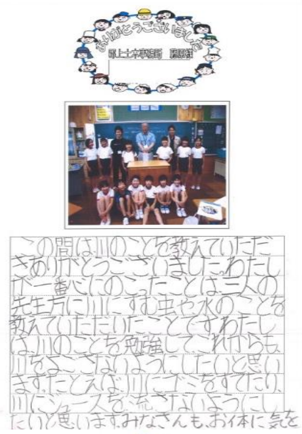
この間は、川のことを教えていただきありがとうございました。わたしが一番心にのこったことは、パックテストです。わたしがもってきた水は、水道水です。水道水は、きれいということが分かってよかったです。わたしは、川のことを勉強して、これからも、川にゴミをすてないようにしたいし、きたない物を入れないようにしていきたいです。

この間は、川のことを教えていただき、ありがとうございました。わたしが一番心にのこったことは、川には、いろんな生き物が石のうらにかくれていることがわかったし、牛道川の水がきれいだったことです。わけは、川でいろんな生きものを見つけれたからです。わたしは、これからも、川を大切にしていきたいと思います。藤原さん、大野さん、川出さん、お体に気をつけて、お仕事をがんばってください。

この間は、川のことを教えていただきありがとうございました。わたしが一番心にのこったことは、川にすんでいる虫をさがすことです。わけは、牛道川にいろいろな虫がいるからです。わたしは、川のことを勉強して、これからは、わたしも、川にすんでいる虫をさがしていきたいと思いました。みなさんもお体に気をつけてお仕事を、がんばって下さい。



この間は、川のことを教えていただきありがとうございました。ぼくが一番心にのこったことは、ヒゲナガトビケラを4ひきつかまえてもらったことがうれしかったです。ぼくは、川のことを勉強してぼくは、いろんな虫とか魚がいることがわかりました。お体に気をつけてお仕事をがんばって下さい。



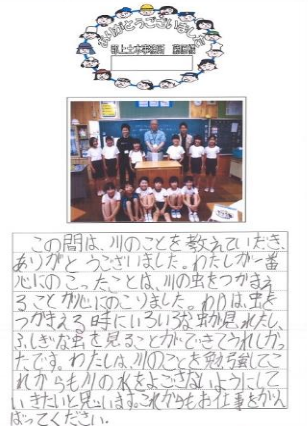
この間は川のことを教えていただきありがとうございました。わたしが一番心にのこったことは三人の先生方に川にすむ虫や水のことを教えていただいたことです。わたしは、川のことを勉強して、これからも、川をよごさないようにしたいと思います。たとえば、川にゴミをすてたり、川にジュースを流さないようにしたいと思います。みなさんも、お体に気を

この間は、川のことを教えていただき、ありがとうございました。わたしが一番心にのこったことは川で、川の虫をいっぱい見つけて調べたことです。わけは、石の下にいる虫などいっぱい見つけられたからです。わたしは、川のことを勉強して、これからは、川をきれいにするためにごみを捨てないようにしていきたいと思いました。みなさんもお体に気をつけて、お仕事をがんばってください。

この間は川のことを教えていただきありがとうございました。わたしが一番心にのこったことは、川の虫をさがしたことです。わけは、きもちわるい虫やかわいい虫をさがしてつかまえれたからです。わたしは、川のことを勉強して、これからは、川をよごさないようにしていきたいと思いました。みなさんもお体に気をつけて、お仕事をがんばってください。

この間は川のことを教えていただきありがとうございました。わたしが一番心にのこったことは、パックテストをやったことです。わけは、4年生のみんなや3人の先生方といっしょに水やジュースがきれいかきたないかを調べることができたからです。わたしは川のことを勉強して、これからは、川にゴミをすてたりしないようにしていきたいと思いました。みなさんも、お体に気をつけて、お仕事をがんばって下さい。

この間は、川のことを教えていただきありがとうございました。わたしが、一番心にのこったことは、川で虫を見つけたことです。わけは川で遊ぶ時はあまり虫を見つけないからです。わたしは川のことを勉強して、これからは遊びながらめずらしい虫などを見つけていきたいと思いました。みなさんも、お体に気をつけて、お仕事をがんばって下さい。



この間は、川のことを教えていだき、ありがとうございました。わたしが一番心にのこったことは、川の虫をつかまえることが心にのこりました。わけは、虫をつかまえる時にいろいろな虫が見れたし、ふしぎな虫を見ることができてうれしかったです。わたしは、川のことを勉強してこれからも川の水をよごさないようにしていきたいと思います。これからもお仕事をがんばってください。

記入者	所属：河川係	氏名：藤原　雅司	電話番号（内線）	0575-67-1111（344）

支援学校名	郡上市立大中小学校	（ 1 ／ 1 ）	関連ページ	２８ページ

【新聞記事】

清流の昆虫多かった

郡上・大中小 長良川で観察会

郡上市白鳥町の長良川で一による水生昆虫の観察会が十五日、県郡上土木事務所一あり、同市大中小学校の四年生十五人が参加した。

児童たちは川底の石を手に取ったり、たもを使うなどして昆虫を採取。こけで滑りやすい石に注意しながら、冷たい水に触れた。採れた昆虫は白いパレットに入れ、ヒラタカゲロウ、カワゲラなどの種類ごとに数を記録した。その結果、清流でしか生きられない昆虫が多いことが分かり、水質の良さが裏付けられた。

同事務所の職員は「これからもきれいな長良川を守ってほしい」と呼びかけた。鷲見瑠楓君は「水の中の昆虫を初めて見た。ぬるぬるしていたけれど、気味が悪いとは思わなかった」と話した。（中山道雄）

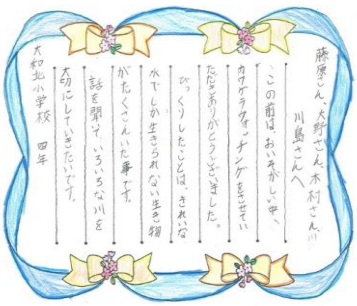
長良川の水生昆虫を探す児童たち＝郡上市白鳥町で

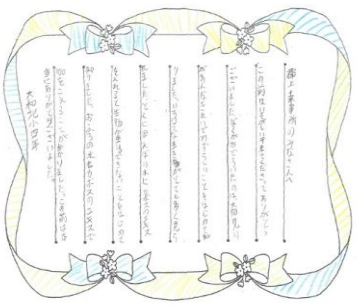
平成30年6月16日(土)
中日新聞　中濃版

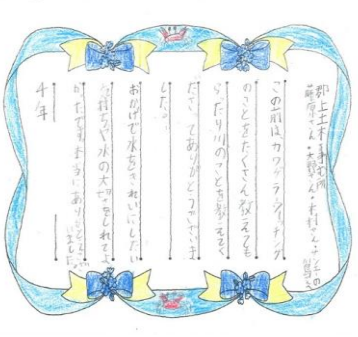
記入者	所属：河川係	氏名：藤原　雅司	電話番号（内線）	0575-67-1111（344）

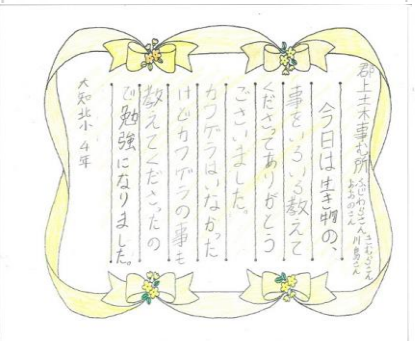
支援学校名	郡上市立大和北小学校	（ 1 ／ 2 ）	関連ページ	２９ページ

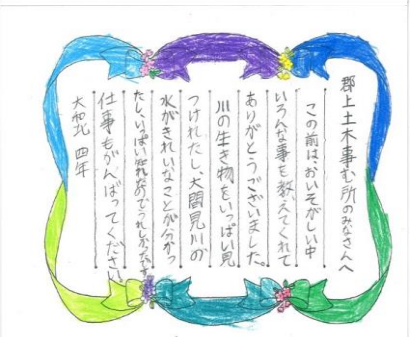
【児童からの手紙】

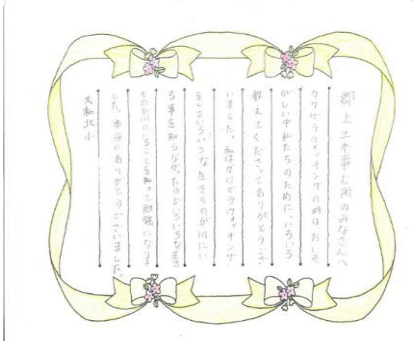








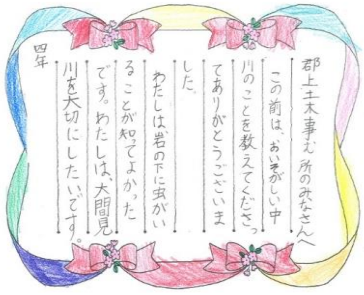


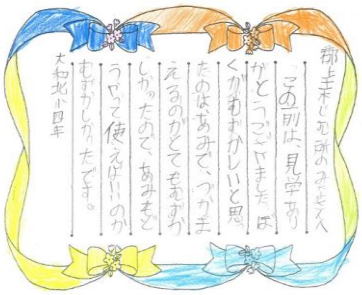


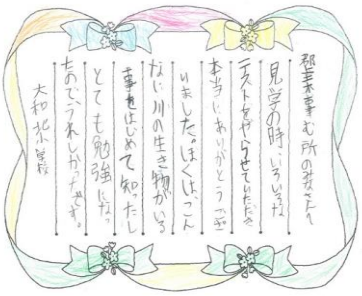
記入者	所属：河川係	氏名：藤原　雅司	電話番号（内線）	0575-67-1111（344）

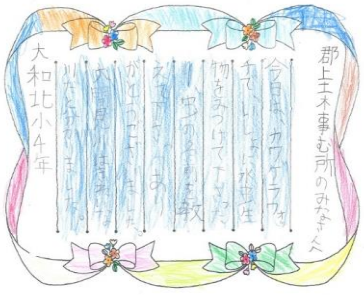
支援学校名	郡上市立大和北小学校	（ 2 ／ 2 ）	関連ページ	２９ページ

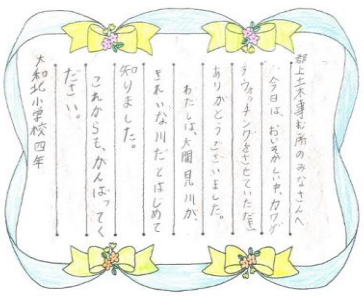
【児童からの手紙】

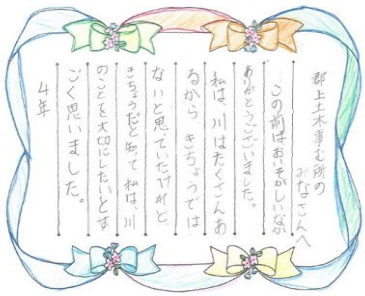












記入者	所属：河川係	氏名：藤原　雅司	電話番号（内線）	0575-67-1111（344）

支援学校名	郡上市立明宝小学校	（ 1 ／ 1 ）	関連ページ	３１ページ

【児童からの手紙】

さぼうえんでいろいろな種類があることが分かりました。

さぼうえん堤には、2糸重類もあることが分かりました。

さぼえんていのことがしれたのでよかったです。土せき流を守ることができるのですごいと思いました。

さぼうえん堤があるとないではひがいの大きさもちがうことがわかった

記入者	所属：砂防係	氏名：伊藤 達也	電話番号（内線）	0575-67-1111（341）

支援学校名	可児市立広見小学校	（ 1 ／ 1 ）	関連ページ	３３ページ

【新聞記事】

平成30年6月12日（火） 岐阜新聞（中濃版）

豪雨災害を教訓に

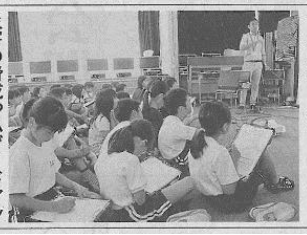
広見小児童 防災地図作り学ぶ

可児市で1人が死亡、2人が現在も行方不明となっている2010年7月の豪雨災害を題材に河川防災について学ぶ授業が11日、同市広見の広見小学校であり、5年生146人が災害の脅威を知り、防災意識を強めた。

同校の5年生は、6年前から防災対策を学習。グループごとに地域を歩いて水路や街路灯の多い道、避難できそうな場所を調べて、毎年秋にハザードマップを作成している。

授業では県可茂土木事務所の職員が、スライドを使って当時の被災状況や洪水が起きる原因、ハザードマップの作り方を説明。「堤防があっても洪水が起こることがある。ハザードマップを作って災害に備えて」と呼び掛けた。

児童は地元で起きた災害の話に耳を傾け、熱心にメモを取った。（松浦健司）



災害の脅威やハザードマップの作り方を学ぶ児童＝可児市広見、広見小学校

記入者	所属：河川砂防係	氏名：天野　裕行	電話番号（内線）	0574-25-3111（318）

支援学校名	八百津町立和知小学校	（ 1 ／ 1 ）	関連ページ	３４ページ

【新聞記事】

平成30年6月28日(木) 岐阜新聞(中濃版)

第3種郵便物認可　　岐　阜　新

生き物観察 水質は◎

和知小児童、地元の石川で「サワガニ捕れたから…」

図鑑片手に品種確認

八百津町和知の和知小学校の4年生25人が、校区を流れる木曽川支流の石川で水生生物の観察を行い、古里の川の水質を調べた。（松浦健司）

河川の環境を学ぶ総合学習の一環。可茂土木事務所の職員3人の指導を受けながら、タモやバケツ、水中が見える箱メガネを手に川へ入り、川底や石の下からサワガニやドジョウ、ヤゴ、ザリガニ、タニシを採取した。

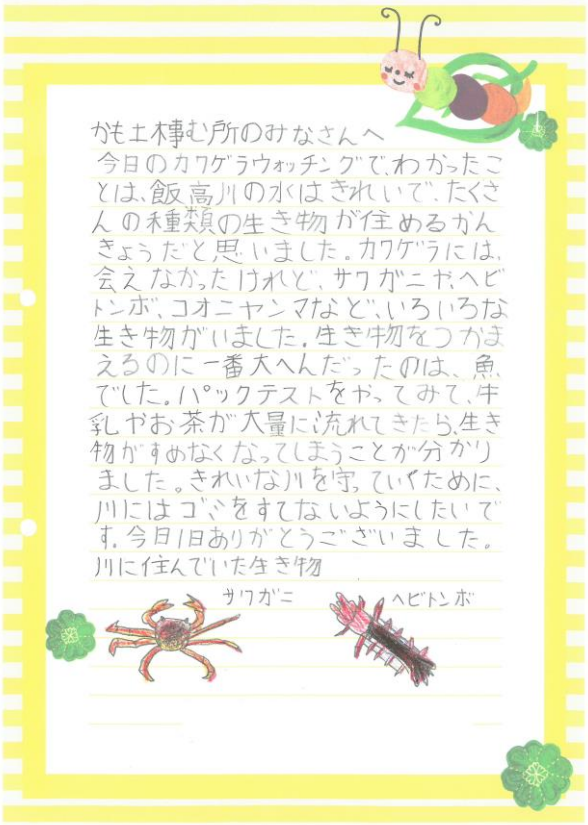
捕まえた生き物をバットに集め、図鑑を見ながら品種名を確認。それぞれの生態系を調べて、水質によって生息する生き物が異なることを学んだ。児童は「サワガニがたくさん捕れたから、この川はきれいってことだね」などと話していた。

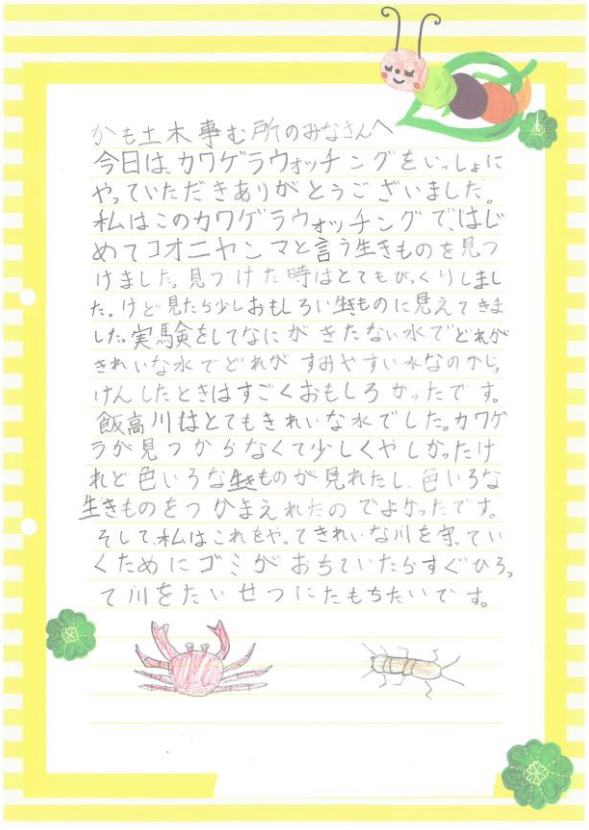
川の中の生き物を観察する児童＝八百津町和知、石川

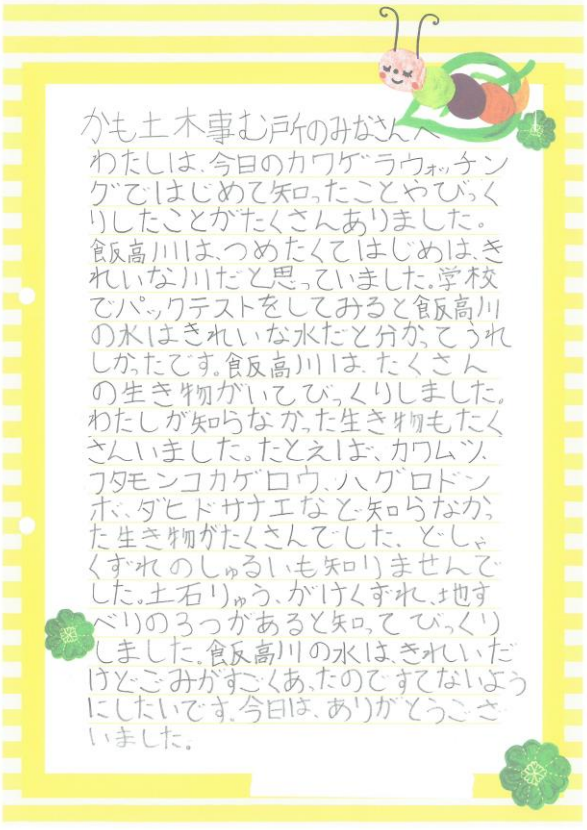
記入者	所属：河川砂防係	氏名：天野　裕行	電話番号（内線）	0574-25-3111（318）

支援学校名	七宗町立上麻生小学校	（ 1 ／ 1 ）	関連ページ	３６ページ

【児童からの手紙】







記入者	所属：河川砂防係	氏名：天野　裕行	電話番号（内線）	0574-25-3111（318）

支援学校名	下呂市立宮田小学校	（ 1 ／ 1 ）	関連ページ	５５ページ

【感想文】

ワゲラウォッチング児童の感想～日記より～

○カワゲラウォッチングでは、川の生き物をつかまえてみたり、さわったりして楽しかったです。

○山之口の川がとてもきれいだとわかりました。この川がそのままの姿で続くようにしたいです。

○私が一番心に残ったのは、カワゲラウォッチングです。

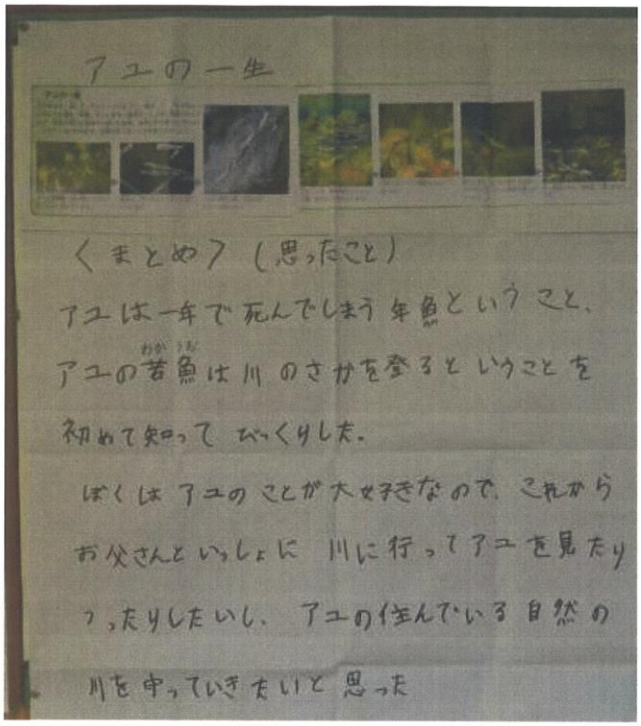
理由が二つあります。1つ目は大きな魚がつれたからです。2つ目は生き物とふれあえたからです。これは、自然を学べたし、とても楽しかったです。

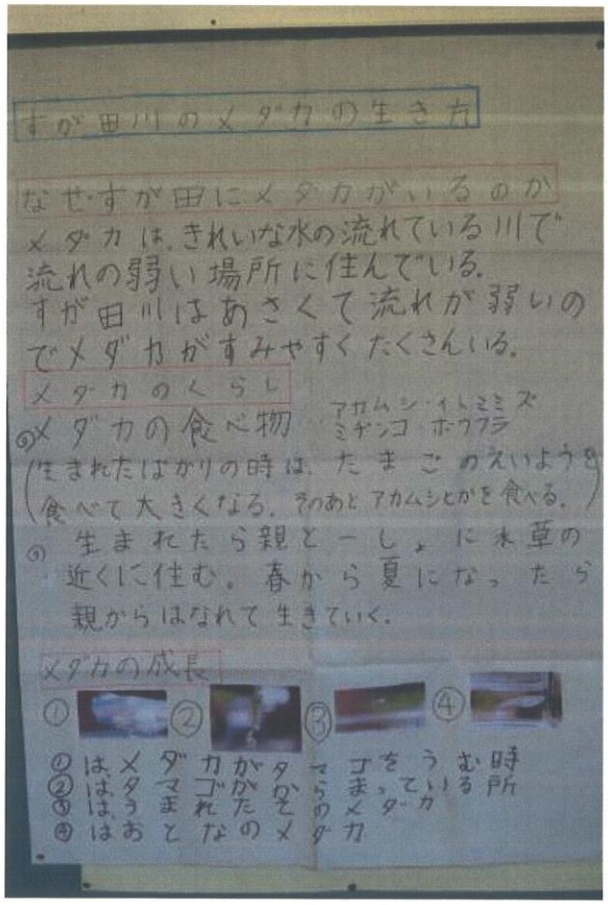
最初はカワゲラの写真を見てやりたくないなあと思ったけど、やってるうちにどんどん夢中になりました。

記入者	所属：河川砂防係	氏名：足立 裕一	電話番号（内線）	0576-52-3111（322）

支援学校名	下呂市立菅田小学校	（ 1 ／ 2 ）	関連ページ	５６ページ

【児童発表資料】

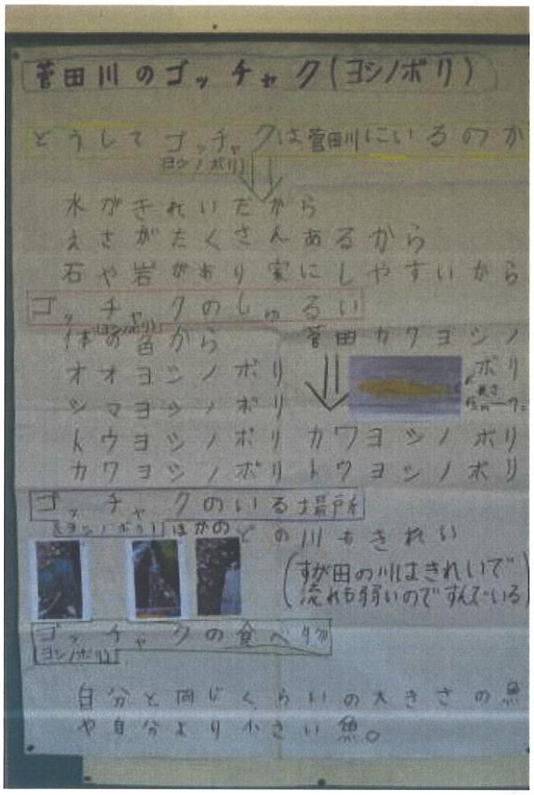


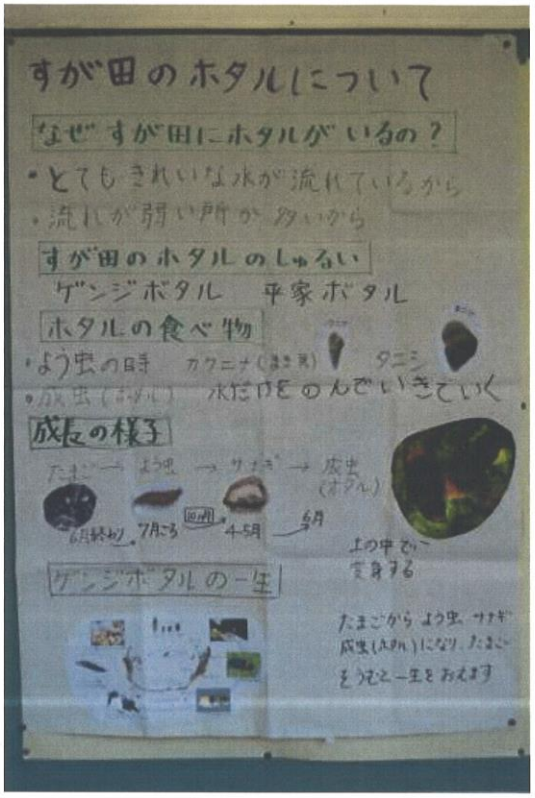


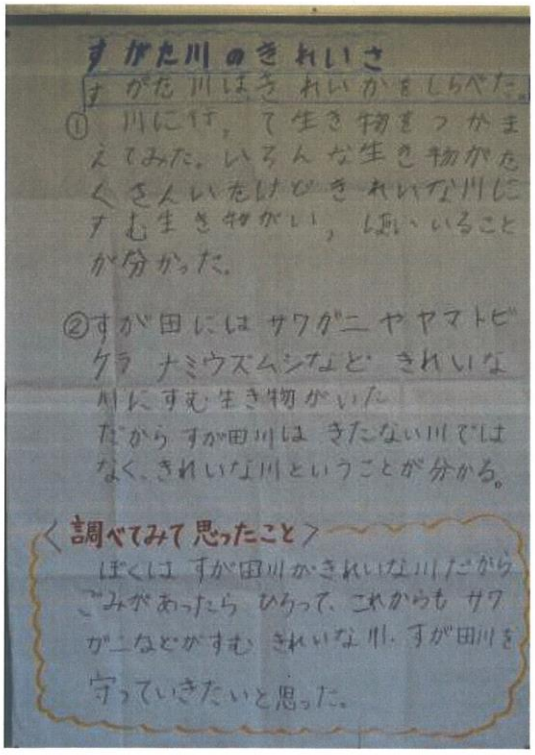
記入者	所属：河川砂防係	氏名：足立 裕一	電話番号（内線）	0576-52-3111（322）

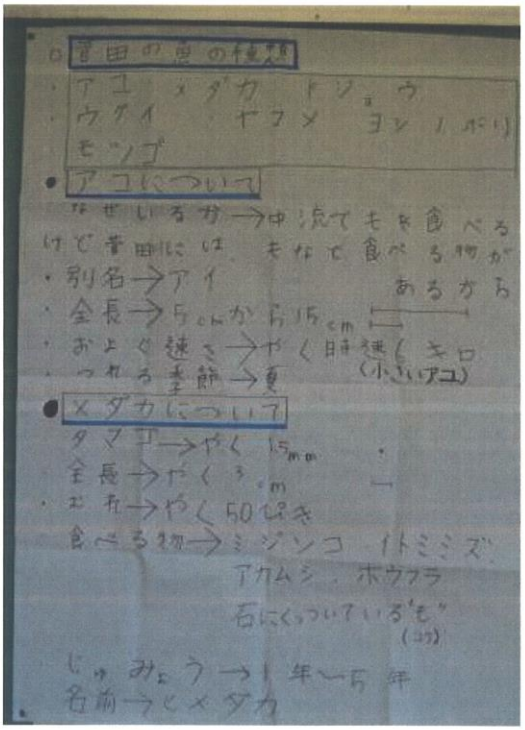
支援学校名	下呂市立菅田小学校	（ 2 ／ 2 ）	関連ページ	５６ページ

【児童発表資料】









記入者	所属：河川砂防係	氏名：足立 裕一	電話番号（内線）	0576-52-3111（322）

支援学校名	飛騨市立古川西小学校	（ 1 ／ 1 ）	関連ページ	６３ページ

【感想文】

堤防見学

かすみ堤や輪中堤について、話を聞いたり見学をしたりして分かったことや感想を書きましょう。

今日、はじめて、かすみ堤について知って、かすみ堤がある時、かすみ堤がない時とは、ぜんぜんちがって、水害がおこるのを、防いでいるということが、分かりました。かすみ堤があれば、洪水する場所が分かるし、その時間で、ひなん場所にひなんできるということが、分かりました。今日、たくさんのことを、教えていただいて、ありがとうございました。

堤防見学

かすみ堤や輪中堤について、話を聞いたり見学をしたりして分かったことや感想を書きましょう。

今日は、私たちのために、このような授業を行っていただきありがとうございます。今日、この授業を学んでみて、私は、堤防には、かすみ堤や、輪中堤があって、この堤防のおかげで、水害がおさえられていると知りました。また、新しいぎじゅつがあるなか、昔から伝わっている方法で作っていると知り、とてもおどろきました。実験をしてみて、やはり、かすみ堤の方が、しん水するのが、おそかったです。まっすぐの堤防は、17秒、かすみ堤は、46秒と、かすみ堤は、にげじかんがたくさんあって、とてもすごかったです。

堤防見学

かすみ堤や輪中堤について、話を聞いたり見学をしたりして分かったことや感想を書きましょう。

わたしは今日の話を聞いてかすみていや輪中ていは大事な役わりをしているんだなと思いました。今日はじめてかすみていなど聞いたのでよかったです。いつも通ったことないところにかすみていがあってそれが町を水害にさせないようにしてるってすごいと思いました。かすみていのちかくは家じゃなく田んぼで川の水は栄養があってあふれても栄養があるからちゃんとそのためにも考えてあるってすごいと思いました。

堤防見学

かすみ堤や輪中堤について、話を聞いたり見学をしたりして分かったことや感想を書きましょう。

今日はぼくたちのために堤防のことを教えて下さってありがとうございました。ぼくはかすみ堤と輪中堤の事を今日初めて知りました。かすみ堤は本堤を切って遊水区いきを作って川に負担をかけないようにしていると分かりました。

輪中堤では民無堤だと下流から水が入ってきて災害がおきるので町をぐるっとかこんだのが輪中堤だと分かりました。

今日この2つの堤防のことをしらべたのでうれしかったです。

このことを災害時の時にやく立てたいです。

堤防見学

かすみ堤や輪中堤について、話を聞いたり見学をしたりして分かったことや感想を書きましょう。

私は、話を聞いてかすみ堤がどれほど大切なのかも分かたし、堤ぼうとかすみ堤のちがいも分かりました。かすみ堤がどこにあるかも知らなかったけどかすみ堤の場所やかすみ堤があると洪水になっても時間がたってから家の周りに来るのでひなんする場所へいどうすることもできるしじゅんびができる時間などが、かくほできたりするとゆうことが分かりました。これから、かすみ堤のことを家そくなどに教えたいです。

堤防見学

かすみ堤や輪中堤について、話を聞いたり見学をしたりして分かったことや感想を書きましょう。

今日初めてかすみ堤を見て、昔の人の知ええで作られたということを知って、昔の人はとてもこう水に苦しめられていたということが想像できます。今日はいつも遠いところに住んでいるのであまり見れないのでとてもよかったです。昔の歴史などでもとても洪水がよく起きていてびっくりしました。輪中堤も見てみたいので、こんどぜひ行ってみたいです。堤防は知っていたけど具体的にどんなことがよいのか知らなかったのでいい勉けんになりました。ありがとうございました。

記入者	所属：河川砂防係	氏名：小林 和馬	電話番号（内線）	0577-73-2911（262）

支援学校名	飛騨市立神岡小学校	（ 1 ／ 1 ）	関連ページ	５９ページ

【新聞記事】

平成30年6月27日（水） 岐阜新聞 飛騨地域版

6/27(水)岐阜新聞(飛騨)

高原川きれいな証し

「水生生物 多かった」

神岡小児童 観察

飛騨市神岡町船津の神岡小学校4年生54人が26日、同町を流れる高原川で水生生物の観察を行い、古里の川の水質などを調べた。

河川の水質を守る大切さを知ってもらおうと、飛騨県事務所と県古川土木事務所が毎年実施している。

児童たちは県職員の指導を受けながら、たも網を手に川へ入り、川底や石の下にいる水生生物を採取した。

この後、各自が採取した生き物をバレットに集め、種類や数をチェック。ナガレトビケラやヒラタカゲロウ、ヘビトンボといったきれいな川に生息する生き物が数多く見つかった。

小瀬翔太君(10)は「石の裏側に見たことのない虫がへばりついていた。友だちと一緒だったので楽しかった」と話していた。

河川の安全利用講習も併せて行われ、児童は川で遊ぶときの注意点を学んだ。（古河博史）

水中の生物を採取する児童＝飛騨市神岡町船津、高原川

記入者	所属：河川砂防係	氏名：小林　和馬	電話番号（内線）	0577-73-2911（262）

これまでの支援活動の経緯

岐阜県では、次の世代を担う子ども達に身近な川の環境を体感してもらうとともに、私達の暮らしを守る川の役割を知ってもらうことによって、未来の地球環境や水害軽減のための取り組みを考えるパートナーを育むことを目的に、川を題材とした「総合的な学習の時間」に取り組んでいる小中学校への支援を積極的に行っています。

平成１３年度に岐阜県内で河川や水辺を利用した自然学習を実践している代表校の先生や関係市町村職員、有識者、河川管理者等による「川を利用した自然学習懇談会～教育関係者と河川管理者の実務担当者懇談会～」で今後の自然学習を広める方策を検討し、平成１４年度より小中学校への本格的な支援を開始しました。

現在では、自然や環境だけでなく、治水、砂防、安全啓発など幅広い分野において総合的な学習の時間の支援を行っています。

平成１４年度

支援人数	約 1,000 名
支援学校・団体数	19 校
支援回数	44 回

８月に指導者のための河川水質調査研修会、３月に「ぎふ発子供たちによる川のフォーラム２００３～これでわたしも川博士～」を開催。

平成１５年度

支援人数	約 1,110 名
支援学校・団体数	22 校
支援回数	48 回

７月に県主催の河川環境メッセにおいて、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示や、関連イベントとして、「川の自然観察会」を開催。

平成１６年度

支援人数	約 1,700 名
支援学校・団体数	18 校
支援回数	35 回

７月に県主催の河川環境メッセにおいて、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示を実施。

平成１７年度

支援人数	約 1,680 名
支援学校・団体数	22 校
支援回数	35 回

７月に県主催の河川環境メッセにおいて、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示や、環境学習を実施している小学校による学習発表会を実施。

平成１８年度

支援人数	約 2,050 名
支援学校・団体数	31 校
支援回数	39 回

７月に県主催の河川環境メッセにおいて、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示や、環境学習を実施している小学校による学習発表会を実施。

平成１９年度

支援人数	約 2,460 名
支援学校・団体数	40 校
支援回数	54 回

８月～１１月に県主催の自然共生パネル展において、子供たちの日頃の川に関する取り組みについてのパネル展示を実施。

平成２０年度

支援人数	約 2,650 名
支援学校・団体数	39 校
支援回数	48 回

平成２１年度

支援人数	約 2,940 名
支援学校・団体数	46 校
支援回数	56 回

平成２２年度

支援人数	約 2,790 名
支援学校・団体数	44 校
支援回数	59 回

平成２３年度

支援人数	約 3,340 名
支援学校・団体数	53 校
支援回数	66 回

平成２４年度

支援人数	約 3,170 名
支援学校・団体数	45 校
支援回数	55 回

平成２５年度

支援人数	約 4,000 名
支援学校・団体数	61 校
支援回数	75 回

平成２６年度

支援人数	約 3,790 名
支援学校・団体数	62 校
支援回数	80 回

平成２７年度

支援人数	約 4,360 名
支援学校・団体数	71 校
支援回数	80 回

平成２８年度

支援人数	約 4,460 名
支援学校・団体数	71 校
支援回数	81 回

平成２９年度

支援人数	約 3,940 名
支援学校・団体数	70 校
支援回数	77 回

平成３０年度

支援人数	約 2,940 名
支援学校・団体数	60 校
支援回数	62 回

（参考）平成 29 年度 支援学校・団体一覧

瑞穂市立牛牧小学校	郡上市立牛道小学校	瑞浪市立明世小学校
瑞穂市立本田小学校	郡上市立吉田小学校	多治見市立精華小学校
北方町立北方小学校	郡上市立八幡小学校	瑞浪市立土岐小学校
北方町立北方西小学校	郡上市立北濃小学校	多治見市立一之倉小学校
岐阜市立早田小学校	郡上市立大中小学校	瑞浪市立瑞浪小学校
北方町立北方南小学校	郡上市立大和南小学校	恵那市立岩邑小学校
岐阜市立長森南中学校	郡上市立高鷲小学校	恵那市立大井小学校
垂井町立東小学校	海津市立東江小学校	恵那市立大井第二小学校
大垣市立北小学校	郡上市立明宝小学校	恵那市立中野方小学校
垂井町立垂井小学校	郡上市立小川小学校	下呂市立馬瀬小学校
水門川の川底学習会	郡上市立和良小学校	下呂市立尾崎小学校
神戸町立南平野小学校	八百津町立和知小学校	下呂市立上原小学校
養老町立上多度小学校	可児市立広見小学校	下呂市立菅田小学校
池田町立池田小学校	七宗町立神渕小学校	下呂市立萩原小学校
県立揖斐特別支援学校	岐阜県立東濃高等学校	下呂市立宮田小学校
美濃市立中有知小学校	美濃加茂市立山手小学校	下呂市立小坂小学校
関市立博愛小学校	多治見市立滝呂小学校	高山市立北小学校
美濃市立牧谷小学校	多治見市立南姫小学校	高山市立清見小学校
関市立安桜小学校	多治見市立昭和小学校	高山市

関市立武儀西小学校	土岐市立濃南小学校	飛騨市古川西小学校
関市立洞戸小学校	多治見市立共栄小学校	飛騨市立神岡小学校
関市立上之保小学校	土岐市立肥田小学校	飛騨市立宮川小学校
関市立武儀東小学校	多治見市立根本小学校	

支　援　窓　口　一　覧

平成３１年３月現在

所属	課、担当	TEL FAX	所管市町村名	所在地
岐阜県 県土整備部	河川課	058-272-1111 058-278-2753	県下全域	〒500-8570 岐阜市薮田南 2-1-1 岐阜県庁内
岐阜県 県土整備部	砂防課	058-272-1111 058-278-2755	県下全域	〒500-8570 岐阜市薮田南 2-1-1 岐阜県庁内
岐阜土木事務所	河川砂防課 河川第一係 河川第二係 砂防係	058-215-0978 058-215-0979 058-278-0052	岐阜市、羽島市、各務原市、 山県市、瑞穂市、本巣市、 岐南町、笠松町、北方町	〒500-8384 岐阜市薮田南 5-14-53 ＯＫＢふれあい会館内
大垣土木事務所	河川砂防課 河川第一係 河川第二係 砂防係	0584-73-1111 0584-82-4960	大垣市、垂井町、関ヶ原町、 神戸町、安八町、輪之内町、 海津市、養老町	〒503-0838 大垣市江崎町 422-3 西濃総合庁舎内
揖斐土木事務所	河川砂防課 河川砂防係	0585-23-1111 0585-23-1105	揖斐川町、大野町、池田町	〒501-0603 揖斐郡揖斐川町上南方 1-1 揖斐総合庁舎内
美濃土木事務所	河川砂防課 河川係 砂防係	0575-33-4011 0575-33-4901	関市、美濃市	〒501-3756 美濃市生櫛 1612-2 中濃総合庁舎内
郡上土木事務所	河川砂防課 河川係 砂防係	0575-67-1111 0575-65-4966	郡上市	〒501-4292 郡上市八幡町初音 1727-2 郡上総合庁舎内
可茂土木事務所	河川砂防課 河川砂防係	0574-25-3111 0574-25-0355	美濃加茂市、可児市、坂祝町、 富加町、川辺町、七宗町、 八百津町、白川町、東白川村、 御嵩町	〒505-8508 美濃加茂市古井町下古井大脇 2610-1 可茂総合庁舎内
多治見土木事務所	河川砂防課 河川砂防係	0572-23-1111 0572-25-7224	多治見市、土岐市、瑞浪市	〒507-8708 多治見市上野町 5-68-1 東濃西部総合庁舎内
恵那土木事務所	河川砂防課 河川係 砂防係	0573-26-1111 0572-26-0417	中津川市、恵那市	〒509-7203 恵那市長島町正家後田 1067-71 恵那総合庁舎内
下呂土木事務所	河川砂防課 河川砂防係	0576-52-3111 0576-52-1948	下呂市	〒509-2592 下呂市萩原町羽根 2605-1 下呂総合庁舎内
高山土木事務所	河川砂防課 河川砂防係	0577-33-1111 0577-33-1086	高山市 （旧国府町、上宝村を除く）、 白川村	〒506-8688 高山市上岡本町 7-468 飛騨総合庁舎内
古川土木事務所	河川砂防課 河川砂防係	0577-73-2911 0577-73-3346	飛騨市、 高山市（旧国府町、上宝村）	〒509-4263 飛騨市古川町上野 617-1

清流の国ぎふ憲章

～ 豊かな森と清き水 世界に誇れる 我が清流の国 ～

「清流の国ぎふ」に生きる私たちは、

知 清流がもたらした自然、歴史、伝統、文化、技を知り学びます

創 ふるさとの宝ものを磨き活かし、新たな創造と発信に努めます

伝 清流の恵みを新たな世代へと守り伝えます

平成26年1月31日 「清流の国ぎふ」づくり推進県民会議

清流の国ぎふ

平成３０年度版 川を題材とした 総合的な学習の時間 活動事例集

岐阜県県土整備部河川課・砂防課

岐阜県河川協会・岐阜県砂防協会

〒500-8570　岐阜市薮田南 2-1-1

ＴＥＬ　058-272-1111（代表）

ＦＡＸ　058-278-2753 (河川課)

ＵＲＬ　http://www.pref.gifu.lg.jp/shakai-kiban/kasen/kasen/11652/

ＭＡＩＬ　c11652@pref.gifu.lg.jp（河川課）

平成３１年３月発行